USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

Optoma

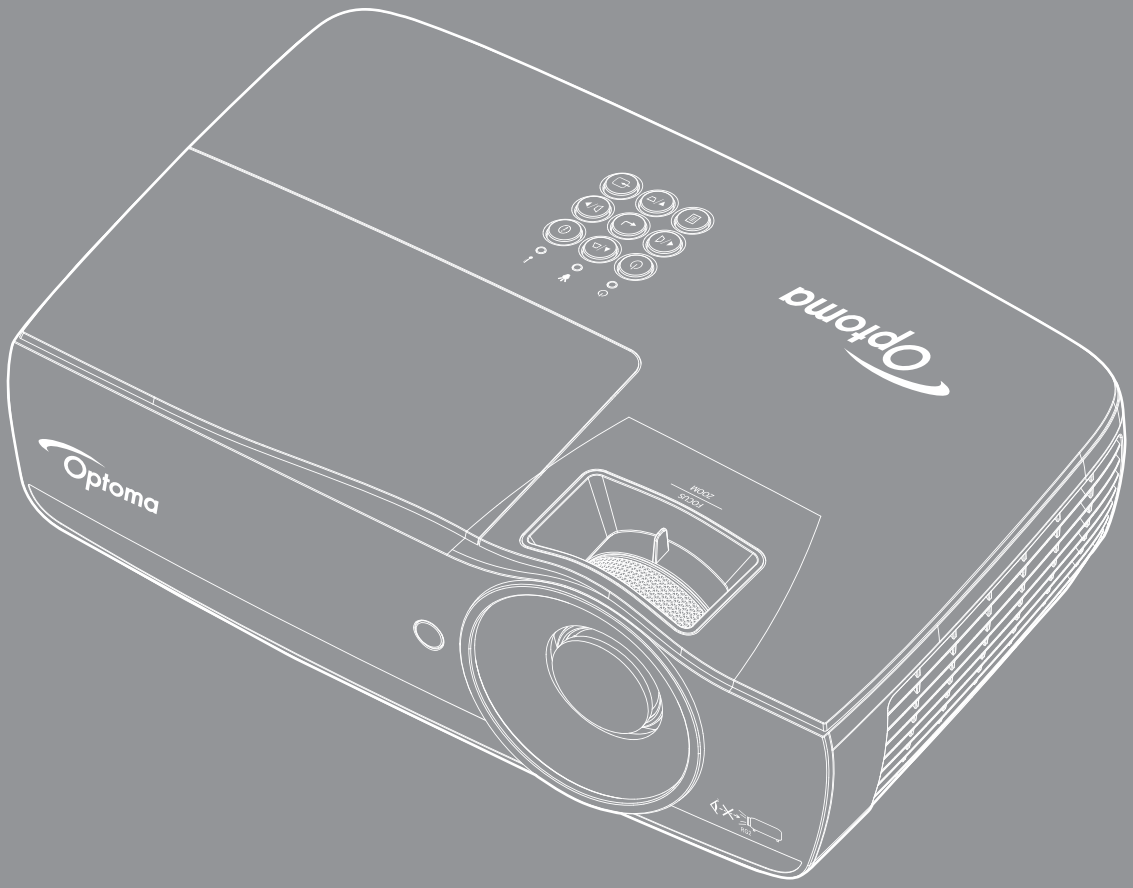
X461

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

DLP®プロジェクター



ユーザーマニュアル

HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

PICTURE BY DLP®
TEXAS INSTRUMENTS

目次

安全に関する情報 4

Class B デジタル装置に関する制限 4
安全に関する大切な指示 4
安全上のご注意 5
目の安全に関する警告 6

はじめに 7

パッケージの内容 7
製品の各部名称 8

設置方法 11

設置方法 11
プロジェクターの電源オン／オフ 13
投射映像の調整 14

ユーザーコントロール 22

リモコン 22
オンスクリーンメニュー 23
メニューツリー 24
ディスプレイ / 映像設定 28
Display / 3D 30
Display / Geometric Correction 31
ディスプレイ / 映像設定 / カラー設定 32
ディスプレイ / 映像設定 / 信号 33
ディスプレイ / 映像設定 / カラーマッチング 34
セットアップ / ランプ設定 36
セットアップ / 電源設定 37
設定 / セキュリティ 38
セットアップ / HDMIリンク設定 40
セットアップ / リモコン設定 41
セットアップ / オプション 41
セットアップ / オプション / 言語 43
セットアップ / オプション / メニュー設定 43
セットアップ / オプション / 入力ソース 44
ネットワーク / LAN 45
ネットワーク / コントロール 46
USB リーダー 48
USB ディスプレイ (モバイルデバイスを USB ポートに直接接続します) 52
ネットワークディスプレイ 53
LAN ディスプレイ 55
LAN_RJ45 56

付録 65

故障かなと思ったら..... 65
ランプの交換..... 68
対応解像度..... 71
True 3Dビデオ互換表 72
Telnetコマンド..... 73
AMX Device Discoveryコマンド..... 73
PJLink™のサポートされるコマンド 74
Trademarks 75
プロジェクタの取り付けについて..... 76
Optoma 社お問い合わせ先..... 77
規制と安全通知..... 78

安全に関する情報

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス（修理点検法など）に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

警告: 火災および感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、専門技術者にご依頼ください。

Class B デジタル装置に関する制限

本Class B デジタル機器は、カナダ障害原因装置規制（Canadian Interference-Causing Equipment Regulations）のすべての 必要条件を満たしています。

安全に関する大切な指示

- 通気口を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気口を塞がないような場所に設置してください。例えば、飲み物等を置いたままのコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- プロジェクターは、水気や湿気のあるところで使用しないでください。プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。火災や感電の原因になります。
- ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- 乾いた布で拭いてください。
- 製造元の指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
- 物理的に破損している、または乱暴に扱われた痕跡のある装置は使用しないでください。

  物理的な破損/乱暴な扱いとは、次のような場合を言います（但し、これは一部の例です）:

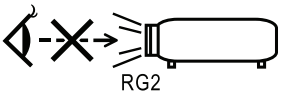
  – 装置を落下させた。
  – 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
  – プロジェクターに液体をこぼした。
  – プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
  – プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。

  お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が侵入しないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 安全標示については、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。

安全上のご注意

この取扱説明書にあるすべての警告、安全上のご注意、および推奨されるメンテナンス方法に従ってください。

警告



- ランプが点灯中はプロジェクターのレンズを覗き込まないでください。明るい光は眼に悪影響を及ぼします。
  明るい光の場合はいずれも、光源を見つめないでください。RG2 IEC 62471-5:2015.
- 火災や感電の原因となるため、本プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- ランプを交換する際は、本体を十分に放熱させてから行ってください。68ページに記載の手順に従ってください。
- 本プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーン表示の「システム / ランプ設定」にある「ランプリセット」機能を使用してリセットします (36ページを参照)。

注記: *ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクターの電源は入りません。68ページの「ランプの交換」に記載の手順に従ってランプを交換してください。*

- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- プロジェクターの動作中に、レンズキャップを取り付けないでください。
- ランプの寿命に近づくと、画面に「ランプを交換してください!」というメッセージが表示されます。
  できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。



推奨事項:

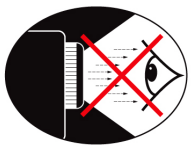
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイ筐体は、中性洗剤を軽く湿らせた柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止事項:

- 換気用に設けられている本機のスロットや開口部を塞がないでください。
- 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 以下のような環境下では使用しないでください:
  - 極端に熱い、寒いまたは湿気の多い環境。
    - 室温が 5 - 40ºC の範囲に保たれていることを確認します
    - 相対湿度は 10 - 85% (最大) で、結露がないものとします
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する機器の傍。
  - 直射日光の当たる場所。

目の安全に関する警告



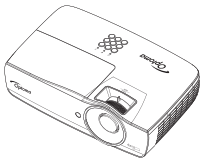
- プロジェクターの光線をまっすぐ見つめたり、光線の方角に直接顔を向けることは避けてください。できる限り光線には背を向けるようにしてください。
- プロジェクターを教室で使用するとき、画面に映っているものを指摘するように生徒を求める場合は、適切に指導してください。
- ランプパワーを最小限に抑えるには、室内用ブラインドを使用して周囲光のレベルを下げてください。

注記： *本マニュアルは後日参照できるように保管してください。*

はじめに

パッケージの内容

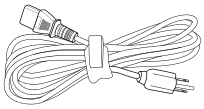
お買い上げいただいた製品の入っていた箱を開け、以下の付属品がすべて入っているか中身をよくお確かめください。
付属品が足りない場合、Optoma 顧客サービスにご連絡ください。



レンズ キャップ付プロジェクター



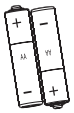
リモコン



電源コード 1.8m

- ☑ ユーザーズマニュアル*
- ☑ 保証書*
- ☑ 基本ユーザーマニュアル

文書



単 3 電池（2 本）

注記： *付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。*
**: EMEAには含まれません。*
**(1) 欧州向けユーザーマニュアルについては、www.optomaeurope.com にアクセスしてください。*
**(2) 欧州の保証情報については、www.optomaeurope.com にアクセスしてください。*

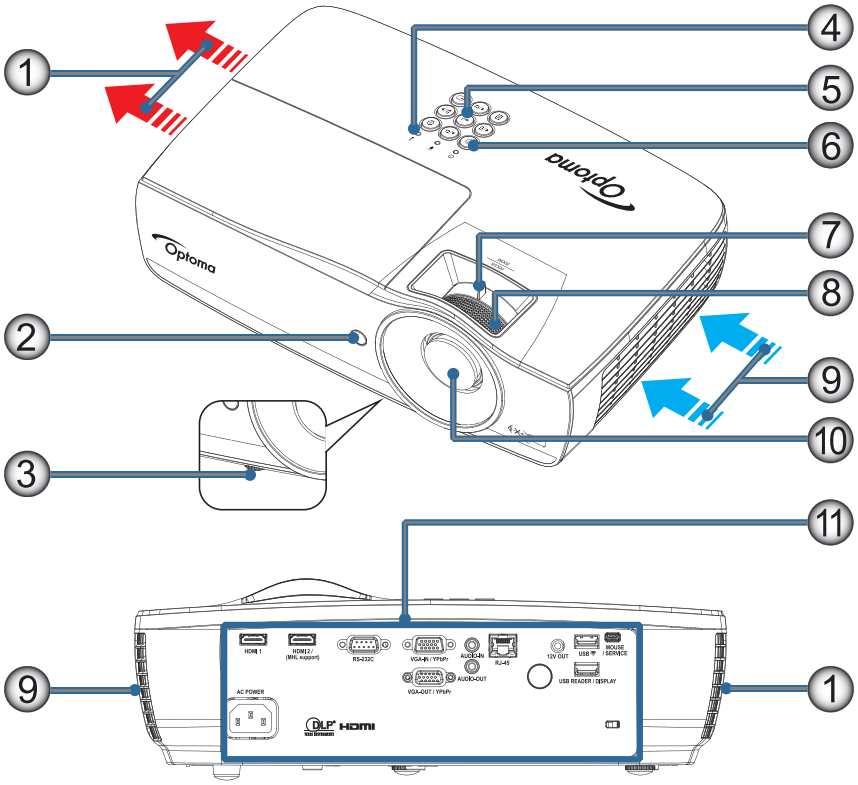
オプションアクセサリ:

- キャリー ケース
- VGA ケーブル

はじめに

製品の各部名称

本体



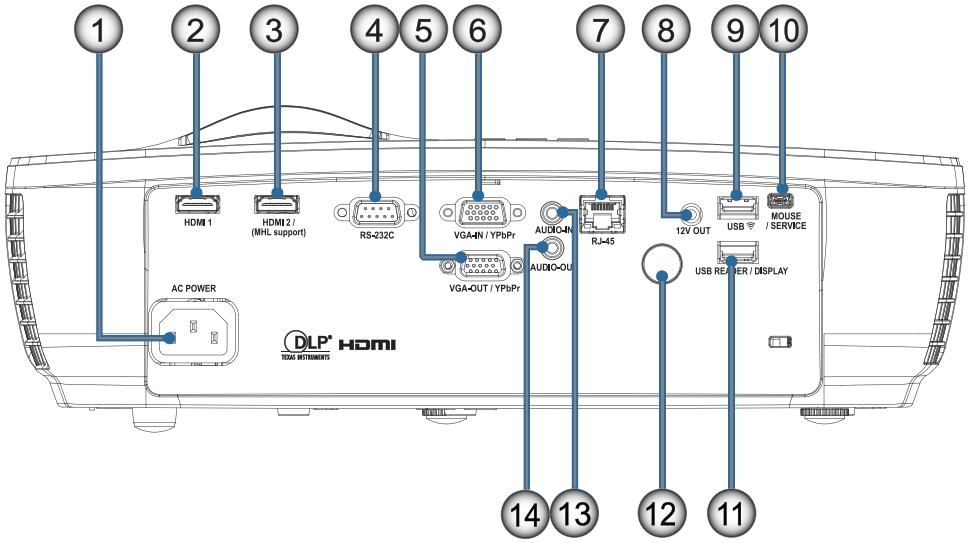
注記:

- *吸気口および排気口の周辺には最低 50 cm の空間を保ちます。*
- *天井から 30 cm の距離を保ちます。*
- *排気口からの熱い空気が吸気口に入らないようにします。*

番号	項目	番号	項目
1.	排気孔	7.	ズーム(1080p ショートスローではご利用いただけません)
2.	IR 受信器	8.	フォーカス
3.	チルト調整フット	9.	吸気口
4.	LED インジケーター	10.	レンズ
5.	ファンクションキー	11.	接続ポート
6.	電源ボタン		

はじめに

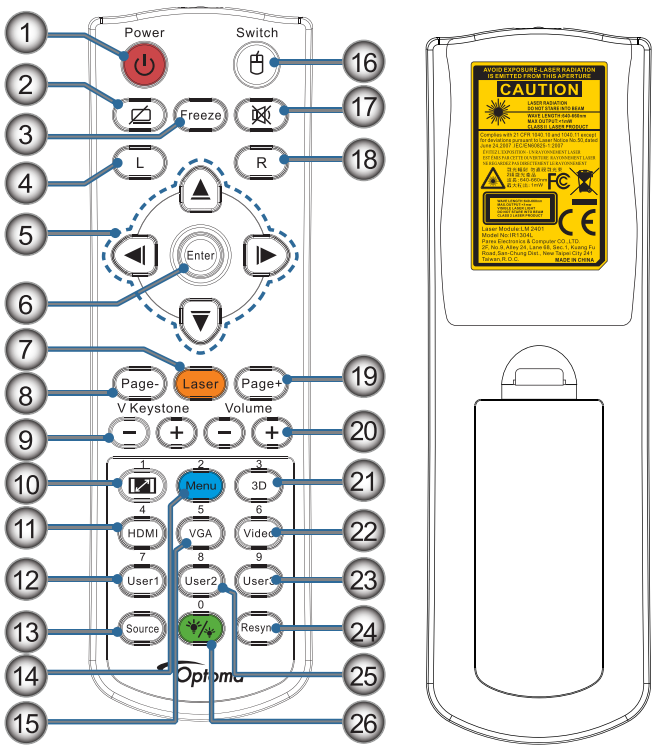
接続ポート



番号	項目	番号	項目
1.	電源ソケット	8.	12V 出力
2.	HDMI1	9.	USB
3.	HDMI2 / (MHL 対応)	10.	マウス / サービス
4.	RS-232C	11.	USBリーダー / ディスプレイ
5.	VGA-出力 / YPbPr	12.	IR 受信器
6.	VGA-入力 / YPbPr	13.	オーディオ入力
7.	RJ-45	14.	オーディオ出力

はじめに

リモコン



番号	項目	番号	項目
1.	電源オン／オフ	14.	Menu（メニュー）/2
2.		15.	VGA/5
3.	フリーズ	16.	スイッチ
4.	USB マウス左クリック	17.	
5.	4 方向選択キー	18.	USB マウス右クリック
6.	Enter（エンター）	19.	ページ+
7.	レーザー **(目に当てないでください)**	20.	音量 +/-
8.	ページ-	21.	3D/3
9.	垂直キーストン +/-	22.	ビデオ/6
10.	/1（パスワード入力のための数字ボタン）	23.	ユーザー3/9
11.	ズーム/4	24.	再同期
12.	ユーザー1/7	25.	ユーザー2/8
13.	ソース	26.	/0

注意：ここに記されている手順以外のコントロール、調整、または操作を行った場合は、有害なレーザー光にさらされる危険があります。2007年6月24日付けのレーザー通知N.50に準じた偏差を除き、レーザー製品のFDAパフォーマンス基準に適合します。

警告：

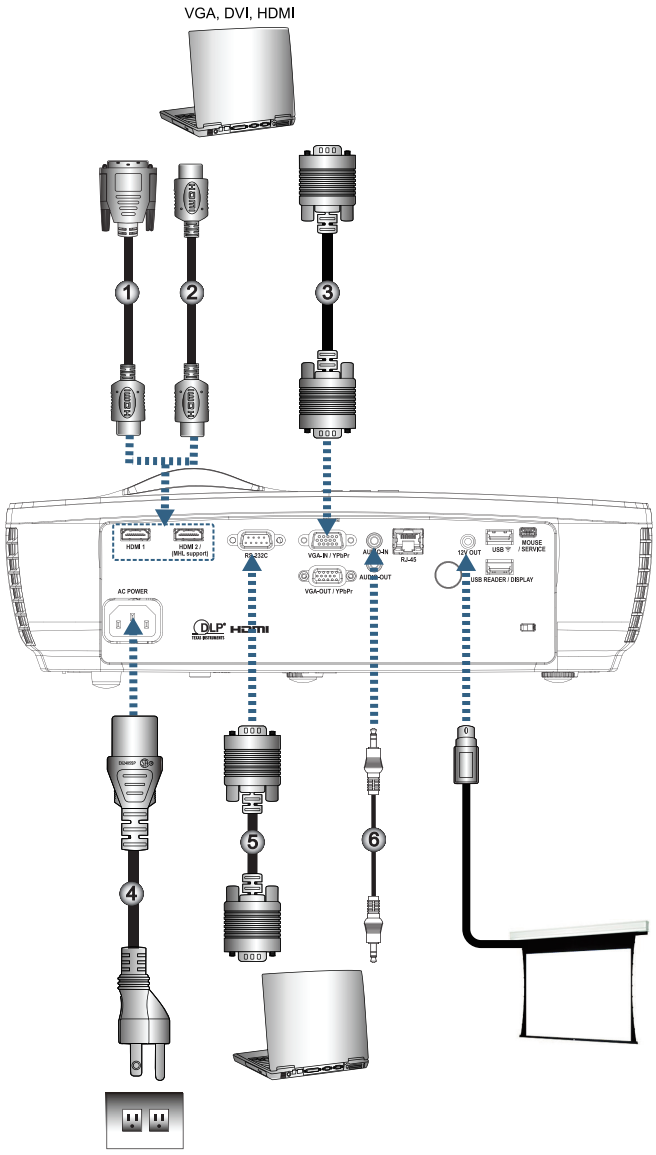
- 異なる種類のバッテリーを交換に使用すると、爆発の危険があります。
- 使用済みバッテリーは指示に従い廃棄してください。

注記：*汎用リモートであるため、機能はモデルに依存します。*

設置方法

設置方法

ノートPCへの接続

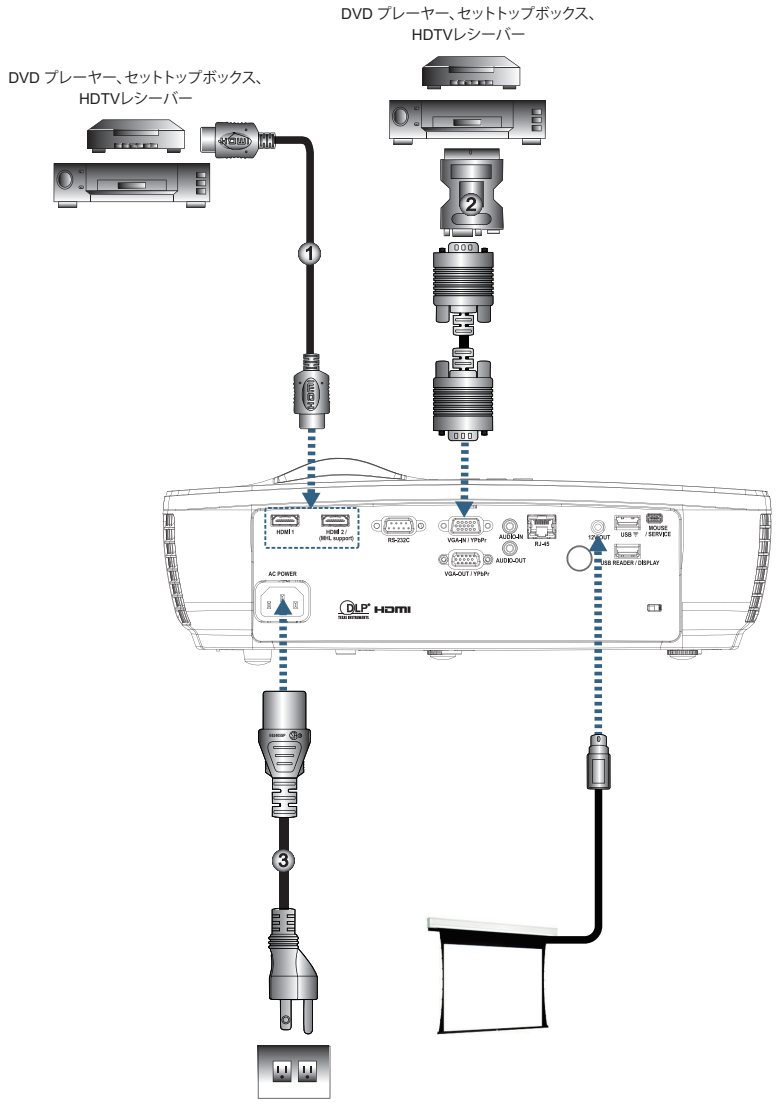


番号	項目	番号	項目
1.	DVI/HDMI ケーブル（オプションアクセサリ）	4.	電源コード
2.	HDMI Cable ケーブル（オプションアクセサリ）	5.	RS232 ケーブル（オプションアクセサリ）
3.	VGA 入力ケーブル	6.	オーディオケーブル（オプションアクセサリ）

注記： *付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。*

設置方法

ビデオソースへの接続



番号	項目	番号	項目
1.	HDMI ケーブル（オプションアクセサリ）	3.	電源コード
2.	SCART RGB/S ビデオアダプタ（オプションアクセサリ）		

注記： *付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。*
注記： *12V 出力はプログラマブルトリガに使用します。*

設置方法

プロジェクターの電源オン／オフ

プロジェクターの電源を入れる

1. レンズカバーを取り外します。
2. 電源コードをプロジェクタに接続します。
3. 接続されたデバイスの電源をオンにします。

注記： *まず、プロジェクターの電源を入れた後、信号ソースを選択します。*

4. 電源 LED が赤色に点灯していることを確認した後、電源ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。
   プロジェクタの起動ロゴ画面が表示され、接続されたデバイスが検出されます。接続されたデバイスがノート PC の場合、コンピュータキーボードの適切なキーを押してディスプレー出力をプロジェクタに切り替えます。（ディスプレー出力を変更する場合の適切な Fn キー組み合わせについては、ノート PC のユーザーマニュアルを確認してください）。

   セキュリティロックが有効な場合、38ページの「設定 / セキュリティ」を参照してください。



注記： *付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。*

複数の入力デバイスが接続されている場合、デバイスを切り替えるには (Source) ボタンを続けて押します。

ソースを直接選択する場合、23ページを参照してください。

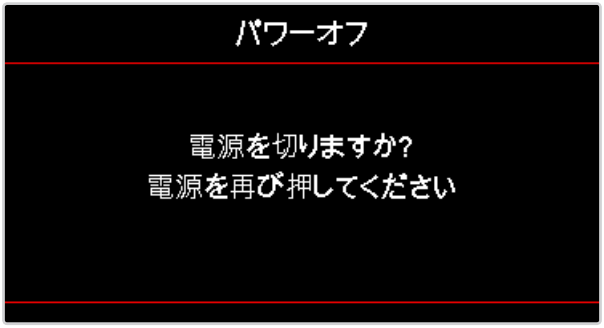


注記： *12V 出力はプログラマブルトリガに使用します。*

設置方法

プロジェクターの電源オフ

1. プロジェクタをオフにするには、リモコンの「⏻」ボタンまたはプロジェクタのパネルの ⏻ (**POWER**) ボタンを押します。一回目のボタンを押す動作で、次のメッセージが画面に表示されます。



ボタンをもう一度押してシャットダウンを確認します。ボタンが押されなかった場合、メッセージの表示は 5 秒で終わります。

2. シャットダウンの冷却期間中、電源LEDは緑色に点滅し（0.5秒間オン、0.5秒間オフ）、ファンの回転速度が増加します。電源LEDが赤色に点滅すると、プロジェクターは直ちにスタンバイモードに入ります。
プロジェクターの電源を再度オンにする場合は、プロジェクターが冷却期間を終えてスタンバイモードに入るまで待ってください。スタンバイモードにはいったら、プロジェクターのパネル上にある ⏻ **(POWER)** ボタンを押すか、「⏻」を押すだけでプロジェクターは再起動します。

3. プロジェクタがスタンバイモードに入った場合のみ、コンセントとプロジェクタから電源コードを抜きます。

警告インジケータ

- 「ランプ LED」インジケータが赤色に点灯している場合、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡してください。66ページを参照してください。
- 「温度 LED」が赤色に点灯（点滅ではなく）している場合、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。通常の条件下で、冷却後に再びプロジェクターのスイッチをオンにできます。それでも問題が残る場合、最寄りの販売店または当社サービスセンターに連絡する必要があります。66ページを参照してください。

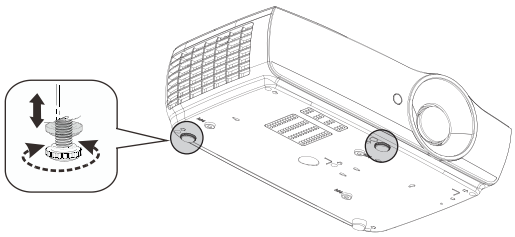
注記： *このような症状が見られる場合は、最寄りのサービスセンターまでご連絡ください。詳しくは、77ページを参照してください。*

投射映像の調整

プロジェクターの高さを調整する

本プロジェクタには、投射映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

画像の角度を調整するには、傾き調整用アジャスタを左または右に回して、希望する角度にします。

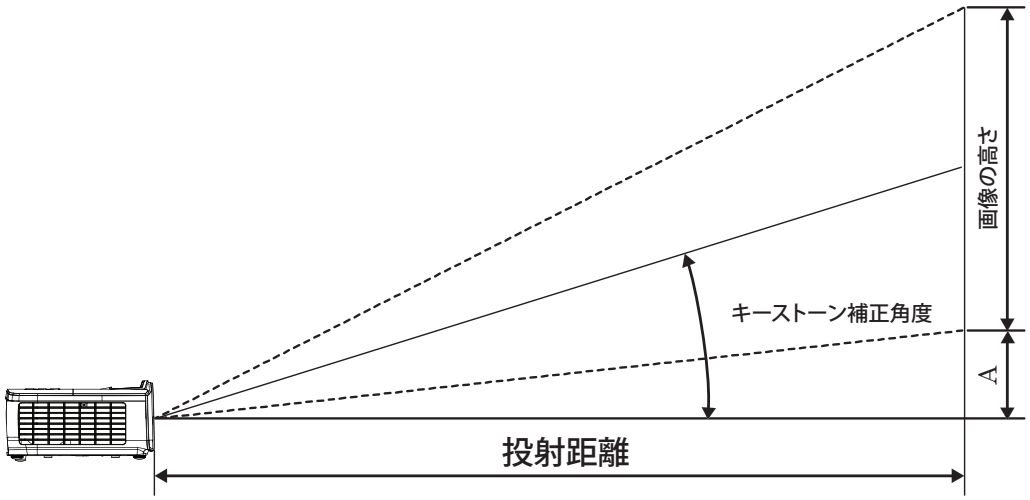


注記：

- *プロジェクタのテーブルまたはスタンドは、水平にしっかり置く必要があります。*
- *プロジェクタが画面に垂直になるように設置します。*
- *安全のため、ケーブルは適切に固定してください。*

設置方法

投射映像サイズと投射距離 (1080P_1.2x)

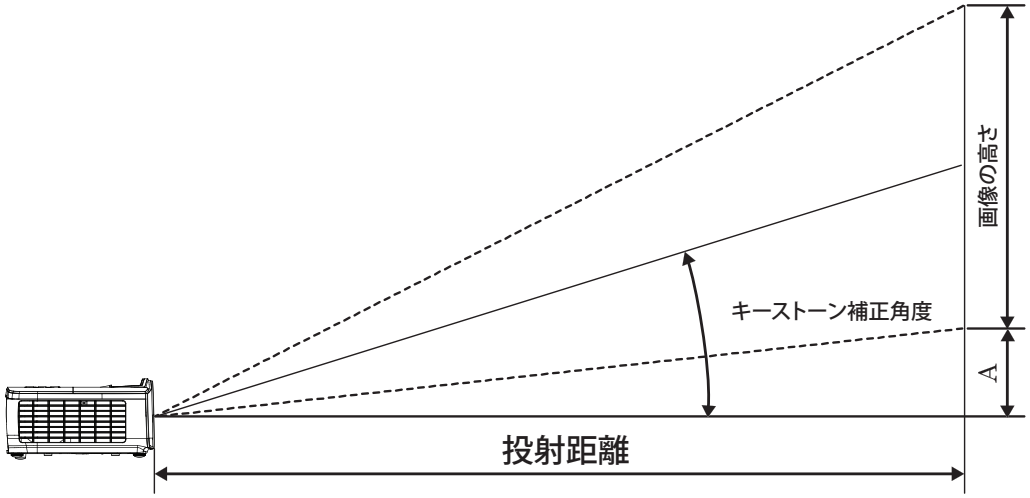


16:9 スクリーンの対角（インチ）	スクリーンサイズ 幅 X 高さ（16:9）				投射距離（D）				オフセット（A）	
	(m)		（フィート）		(m)		（フィート）			
	幅	高さ	幅	高さ	幅	テレ	幅	テレ	(m)	(フィート)
30	0.66	0.37	2.18	1.23	0.81	0.97	2.66	3.19	0.06	0.18
40	0.89	0.50	2.91	1.63	1.08	1.30	3.54	4.25	0.07	0.24
60	1.33	0.75	4.36	2.45	1.62	1.94	5.32	6.38	0.11	0.37
80	1.77	1.00	5.81	3.27	2.16	2.59	7.09	8.50	0.15	0.49
100	2.21	1.25	7.26	4.09	2.70	3.24	8.86	10.63	0.19	0.61
120	2.66	1.49	8.72	4.90	3.24	3.89	10.63	12.75	0.22	0.73
140	3.10	1.74	10.17	5.72	3.78	4.53	12.41	14.88	0.26	0.85
160	3.54	1.99	11.62	6.54	4.32	5.18	14.18	17.00	0.30	0.97
190	4.21	2.37	13.80	7.76	5.13	6.15	16.84	20.19	0.35	1.16
230	5.09	2.86	16.71	9.40	6.21	7.45	20.38	24.44	0.43	1.40
280	6.20	3.49	20.34	11.44	7.56	9.07	24.81	29.75	0.52	1.71
300	6.64	3.74	21.79	12.26	8.10	9.72	26.58	31.88	0.56	1.83

注記： *300″（オーバードライブ装置）（アジアの場合）。*

設置方法

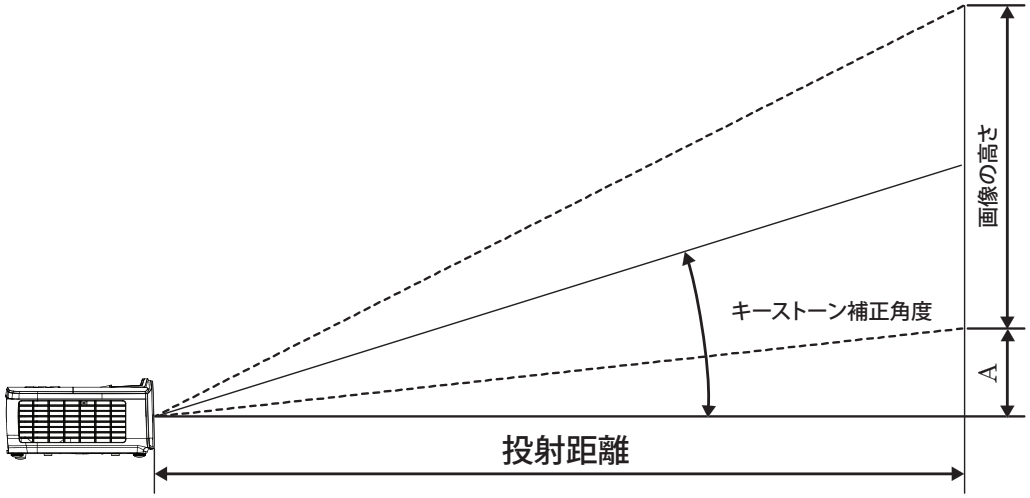
投射映像サイズと投射距離 (1080P_1.5x)



16:9 スクリーンの対角（インチ）	スクリーンサイズ 幅 X 高さ（16:9）				投射距離（D）				オフセット（A）	
	(m)		（フィート）		(m)		（フィート）			
	幅	高さ	幅	高さ	幅	テレ	幅	テレ	(m)	(フィート)
30	0.66	0.37	2.18	1.23	0.92	1.39	3.03	4.55	0.06	0.18
40	0.89	0.50	2.91	1.63	1.23	1.85	4.04	6.07	0.07	0.24
60	1.33	0.75	4.36	2.45	1.85	2.78	6.06	9.11	0.11	0.37
80	1.77	1.00	5.81	3.27	2.46	3.70	8.08	12.14	0.15	0.49
100	2.21	1.25	7.26	4.09	3.08	4.63	10.10	15.18	0.19	0.61
120	2.66	1.49	8.72	4.90	3.69	5.55	12.11	18.22	0.22	0.73
140	3.10	1.74	10.17	5.72	4.31	6.48	14.13	21.25	0.26	0.85
160	3.54	1.99	11.62	6.54	4.92	7.40	16.15	24.29	0.30	0.97
190	4.21	2.37	13.80	7.76	5.85	8.79	19.18	28.84	0.35	1.16
230	5.09	2.86	16.71	9.40	7.08	10.64	23.22	34.91	0.43	1.40
280	6.20	3.49	20.34	11.44	8.62	12.96	28.27	42.50	0.52	1.71
300	6.64	3.74	21.79	12.26	9.23	13.88	30.29	45.54	0.56	1.83

設置方法

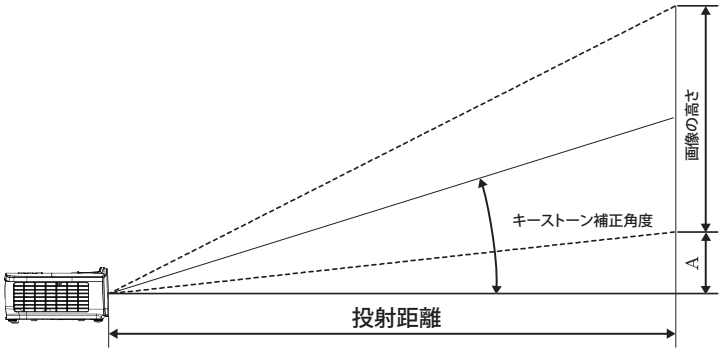
投射映像サイズと投射距離 (1080P_ST)



16:9 スクリーンの対角（インチ）	スクリーンサイズ 幅 X 高さ（16:9）				投射距離（D）		オフセット（A）	
	(m)		（フィート）		(m)	（フィート）		
	幅	高さ	幅	高さ	ST	ST	(m)	（フィート）
30	0.66	0.37	2.18	1.23	0.33	1.09	0.06	0.18
40	0.89	0.50	2.91	1.63	0.44	1.45	0.07	0.24
60	1.33	0.75	4.36	2.45	0.66	2.18	0.11	0.37
80	1.77	1.00	5.81	3.27	0.89	2.91	0.15	0.49
100	2.21	1.25	7.26	4.09	1.11	3.63	0.19	0.61
120	2.66	1.49	8.72	4.90	1.33	4.36	0.22	0.73
140	3.10	1.74	10.17	5.72	1.55	5.08	0.26	0.85
160	3.54	1.99	11.62	6.54	1.77	5.81	0.30	0.97
190	4.21	2.37	13.80	7.76	2.10	6.90	0.35	1.16
230	5.09	2.86	16.71	9.40	2.55	8.35	0.43	1.40
280	6.20	3.49	20.34	11.44	3.10	10.17	0.52	1.71
300	6.64	3.74	21.79	12.26	3.32	10.89	0.56	1.83

設置方法

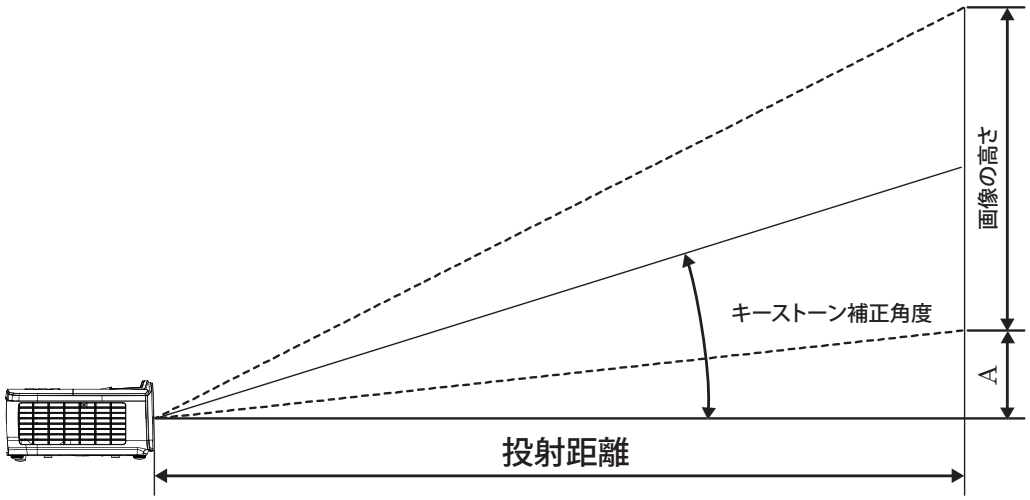
投射映像サイズと投射距離 (WUXGA)



16:10 スクリーンの対角（インチ）	スクリーンサイズ 幅 X 高さ（16:10）				投射距離（D）				オフセット（A）	
	(m)		（フィート）		(m)		（フィート）			
	幅	高さ	幅	高さ	幅	テレ	幅	テレ	(m)	(フィート)
30	0.65	0.40	2.12	1.32	0.90	1.35	2.95	4.43	0.03	0.11
40	0.86	0.54	2.83	1.77	1.20	1.80	3.93	5.91	0.05	0.15
60	1.29	0.81	4.24	2.65	1.80	2.70	5.89	8.86	0.07	0.22
80	1.72	1.08	5.65	3.53	2.40	3.60	7.86	11.82	0.09	0.30
100	2.15	1.35	7.07	4.42	2.99	4.50	9.82	14.77	0.11	0.37
120	2.58	1.62	8.48	5.30	3.59	5.40	11.79	17.72	0.14	0.45
140	3.02	1.88	9.89	6.18	4.19	6.30	13.75	20.68	0.16	0.52
160	3.45	2.15	11.31	7.07	4.79	7.20	15.72	23.63	0.18	0.60
190	4.09	2.56	13.43	8.39	5.69	8.55	18.66	28.06	0.22	0.71
230	4.95	3.10	16.25	10.16	6.89	10.35	22.59	33.97	0.26	0.86
280	6.03	3.77	19.79	12.37	8.38	12.60	27.50	41.35	0.32	1.04
300	6.46	4.04	21.20	13.25	8.98	13.51	29.47	44.31	0.34	1.12

設置方法

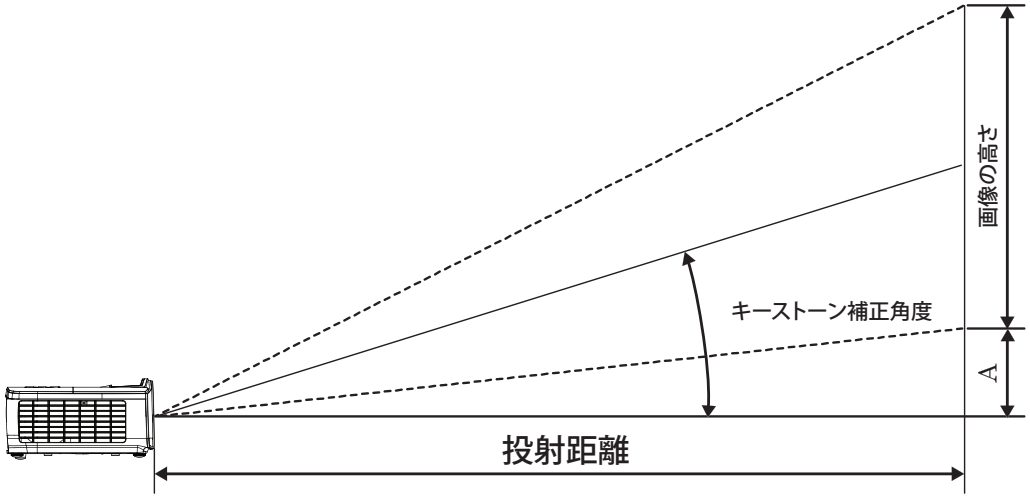
投射映像サイズと投射距離 (XGA)



4:3 スクリーンの対角（インチ）	スクリーンサイズ 幅 X 高さ（4:3）				投射距離（D）				オフセット（A）	
	(m)		（フィート）		(m)		（フィート）			
	幅	高さ	幅	高さ	幅	テレ	幅	テレ	(m)	(フィート)
30	0.61	0.46	2.00	1.50	0.98	1.17	3.20	3.84	0.06	0.21
40	0.81	0.61	2.67	2.00	1.30	1.56	4.27	5.12	0.08	0.28
60	1.22	0.91	4.00	3.00	1.95	2.34	6.40	7.68	0.13	0.42
80	1.63	1.22	5.33	4.00	2.60	3.12	8.53	10.24	0.17	0.56
100	2.03	1.52	6.67	5.00	3.25	3.90	10.67	12.80	0.21	0.70
120	2.44	1.83	8.00	6.00	3.90	4.68	12.80	15.36	0.25	0.83
140	2.84	2.13	9.33	7.00	4.55	5.46	14.93	17.92	0.30	0.97
160	3.25	2.44	10.67	8.00	5.20	6.24	17.07	20.48	0.34	1.11
190	3.86	2.90	12.67	9.50	6.18	7.41	20.27	24.32	0.40	1.32
230	4.67	3.51	15.33	11.50	7.48	8.97	24.53	29.44	0.49	1.60
280	5.69	4.27	18.67	14.00	9.10	10.92	29.87	35.84	0.59	1.95
300	6.10	4.57	20.00	15.00	9.75	11.70	32.00	38.40	0.64	2.09

設置方法

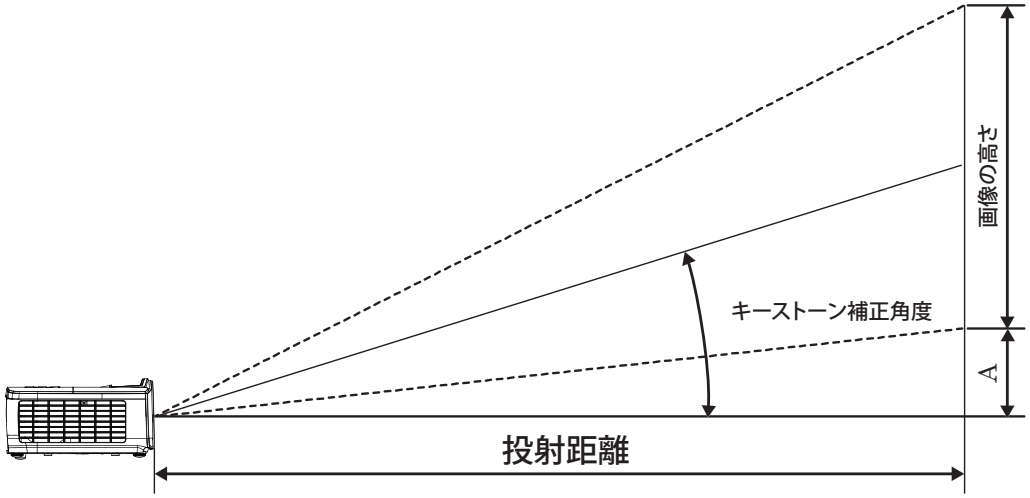
投射映像サイズと投射距離 (WXGA_1.2x)



16:10 スクリーンの対角（インチ）	スクリーンサイズ 幅 X 高さ（16:10）				投射距離（D）				オフセット（A）	
	(m)		（フィート）		(m)		（フィート）			
	幅	高さ	幅	高さ	幅	テレ	幅	テレ	(m)	(フィート)
30	0.65	0.40	2.12	1.32	0.83	0.99	2.71	3.26	0.05	0.15
40	0.86	0.54	2.83	1.77	1.10	1.32	3.62	4.34	0.06	0.20
60	1.29	0.81	4.24	2.65	1.65	1.99	5.43	6.51	0.09	0.30
80	1.72	1.08	5.65	3.53	2.21	2.65	7.24	8.68	0.12	0.40
100	2.15	1.35	7.07	4.42	2.76	3.31	9.05	10.85	0.15	0.50
120	2.58	1.62	8.48	5.30	3.31	3.97	10.85	13.03	0.18	0.60
140	3.02	1.88	9.89	6.18	3.86	4.63	12.66	15.20	0.21	0.70
160	3.45	2.15	11.31	7.07	4.41	5.29	14.47	17.37	0.24	0.80
190	4.09	2.56	13.43	8.39	5.24	6.29	17.19	20.62	0.29	0.95
230	4.95	3.10	16.25	10.16	6.34	7.61	20.80	24.97	0.35	1.15
280	6.03	3.77	19.79	12.37	7.72	9.26	25.33	30.39	0.43	1.40
300	6.46	4.04	21.20	13.25	8.27	9.93	27.14	32.56	0.46	1.50

設置方法

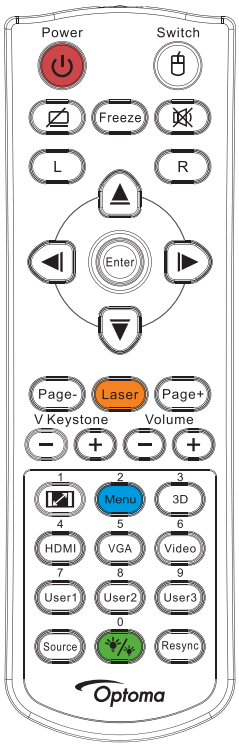
投射映像サイズと投射距離 (WXGA_ST)



16:10 スクリーンの対角（インチ）	スクリーンサイズ 幅 X 高さ（16:10）				投射距離（D）		オフセット（A）	
	(m)		（フィート）		(m)	（フィート）		
	幅	高さ	幅	高さ	ST	ST	(m)	（フィート）
30	0.65	0.40	2.12	1.32	0.34	1.11	0.05	0.15
40	0.86	0.54	2.83	1.77	0.45	1.48	0.06	0.20
60	1.29	0.81	4.24	2.65	0.68	2.23	0.09	0.30
80	1.72	1.08	5.65	3.53	0.90	2.97	0.12	0.40
100	2.15	1.35	7.07	4.42	1.13	3.71	0.15	0.50
120	2.58	1.62	8.48	5.30	1.36	4.45	0.18	0.60
140	3.02	1.88	9.89	6.18	1.58	5.19	0.21	0.70
160	3.45	2.15	11.31	7.07	1.81	5.94	0.24	0.80
190	4.09	2.56	13.43	8.39	2.15	7.05	0.29	0.95
230	4.95	3.10	16.25	10.16	2.60	8.53	0.35	1.15
280	6.03	3.77	19.79	12.37	3.17	10.39	0.43	1.40
300	6.46	4.04	21.20	13.25	3.39	11.13	0.46	1.50

ユーザーコントロール

リモコン



リモコンのボタン	
電源オン／オフ	14ページの「プロジェクターの電源オフ」のセクションをご参照ください。 13ページの「プロジェクターの電源を入れる」のセクションをご参照ください。
/スイッチ	USBを通してプロジェクタにPCを接続するとき、「マウススイッチ」を押してマウスモードをアクティブ／非アクティブにし、リモコンを使用してPCを制御します。
	画面非表示 & 消音
フリーズ	フリーズ
	消音
L	USB マウス左クリック
R	USB マウス右クリック
4 方向選択キー	• ▲▼◄► を使って項目を選択するか、選択の調整を行います。 • マウスモードで、方向キーのエミュレーションとして ▲▼◄► を使用します。
Enter（エンター）	• 項目選択を確認します。 • マウスモードで、エミュレーションキーボードの入力キーとして。
ページ-	OSD がオフの時に USB 経由で USB キーボードをエミュレーションするには Page Down キーを使用します
レーザー	画面上のポインタを操作するにはレーザーを押します。 **目に当てないでください。**
ページ+	OSD がオフの時に USB 経由で USB キーボードをエミュレーションするには Page Up キーを使用します
垂直キーストン +/-	プロジェクターのチルト調整 (水平：± 20 度、垂直：± 30 度。水平方向が最大に設定されている場合、垂直方向の調整範囲は、± 20 度のみです）が原因の画像のゆがみを調整します。
音量 +/-	「音量+/-」を押して音量を調整します。
/1	27ページの「アスペクト比」を参照してください。
MENU (メニュー)/2	「Menu (メニュー)」を押してオンスクリーン (OSD) メニュ ーを起動します。OSD を終了するには、「Menu (メニュー)」 をもう一度押します。
3D/3	3Dを押して3Dメニューのオン／オフを切り替えます。
HDMI/4	「HDMI」 を押して HDMI ソースを選択します。
VGA/5	「VGA」 を押して、VGA- IN コネクタからのソースを選択します。

ユーザーコントロール

リモコンのボタン	
ビデオ/6	「ビデオ」を押してコンポジットビデオソースを選択します。
ユーザー 1/7	41ページの「ユーザー1 / ユーザー2 / ユーザー3」を参照してください。
ユーザー 2/8	41ページの「ユーザー1 / ユーザー2 / ユーザー3」を参照してください。
ユーザー 3/9	41ページの「ユーザー1 / ユーザー2 / ユーザー3」を参照してください。
/0	輝度モードメニュー オン／オフ
ソース	「ソース」を押してソースを検索します。
再同期	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。

注記:

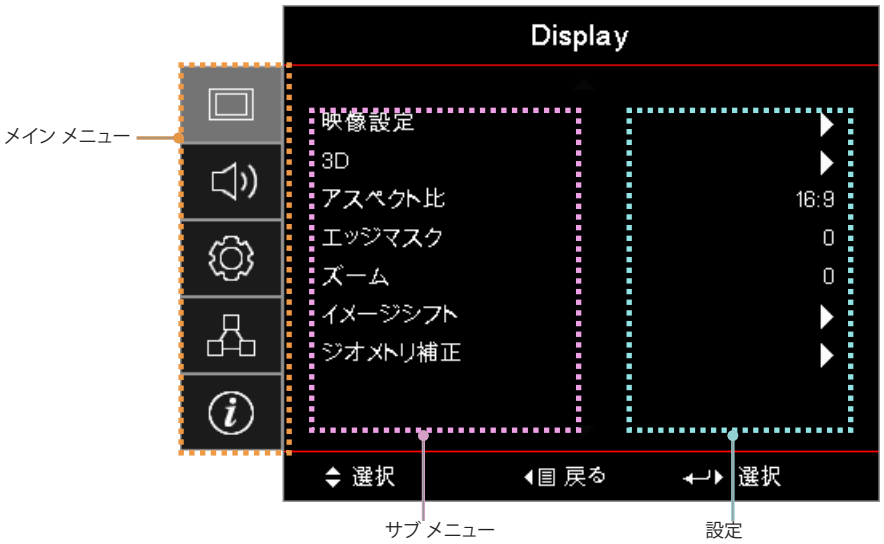
- *各国でのアプリケーションが異なるため、一部地域では異なる付属品がある場合があります。*
- *汎用リモートであるため、機能はモデルに依存します。*
- *リモコン番号はパスワード使用時に使用します。*

オンスクリーンメニュー

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。

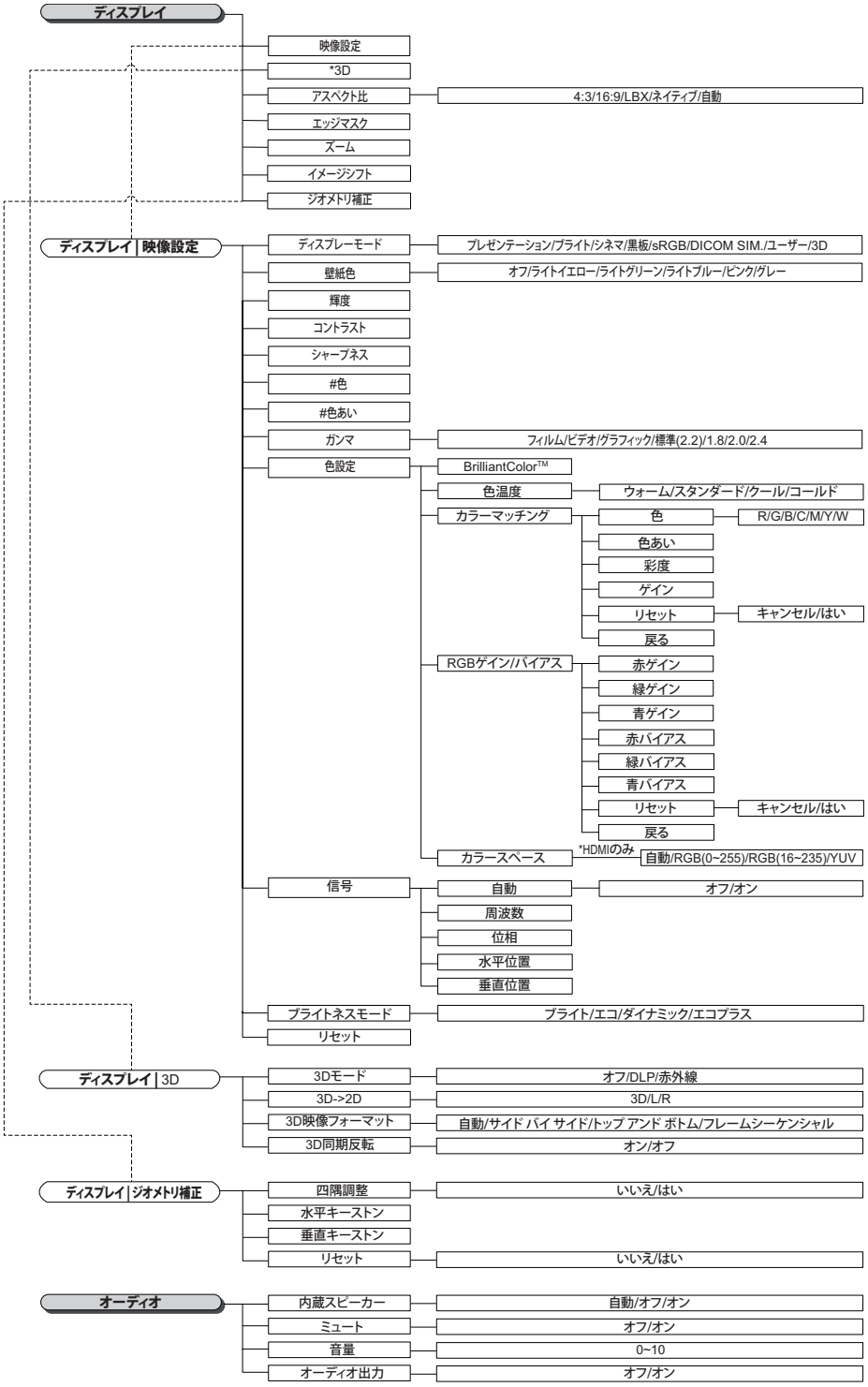
操作方法

1. OSD メニューを開くには、リモコンまたはコントロールパネルの Menu (Menu) ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら、▲▼キーを使用してメインメニュー内の項目を選べます。特定のページにてメニュー項目を選択する際►または Enter (Enter) ボタンを押してサブメニューに入れます。
3. ▲▼キーを用いて所望の項目を選択し、►または Enter (Enter) ボタンを用いて更なる詳細設定を表示できます。◄►キーを用いて設定を変更できます。
4. サブメニューにて、次に調整する項目を選んで上述の通りに調整します。
5. ►または Enter (Enter) ボタンを押して確定します。
6. 終了するには、もう一度 Menu (Menu) ボタンを押します。オンスクリーンメニューが閉じられ、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



ユーザーコントロール

メニューツリー



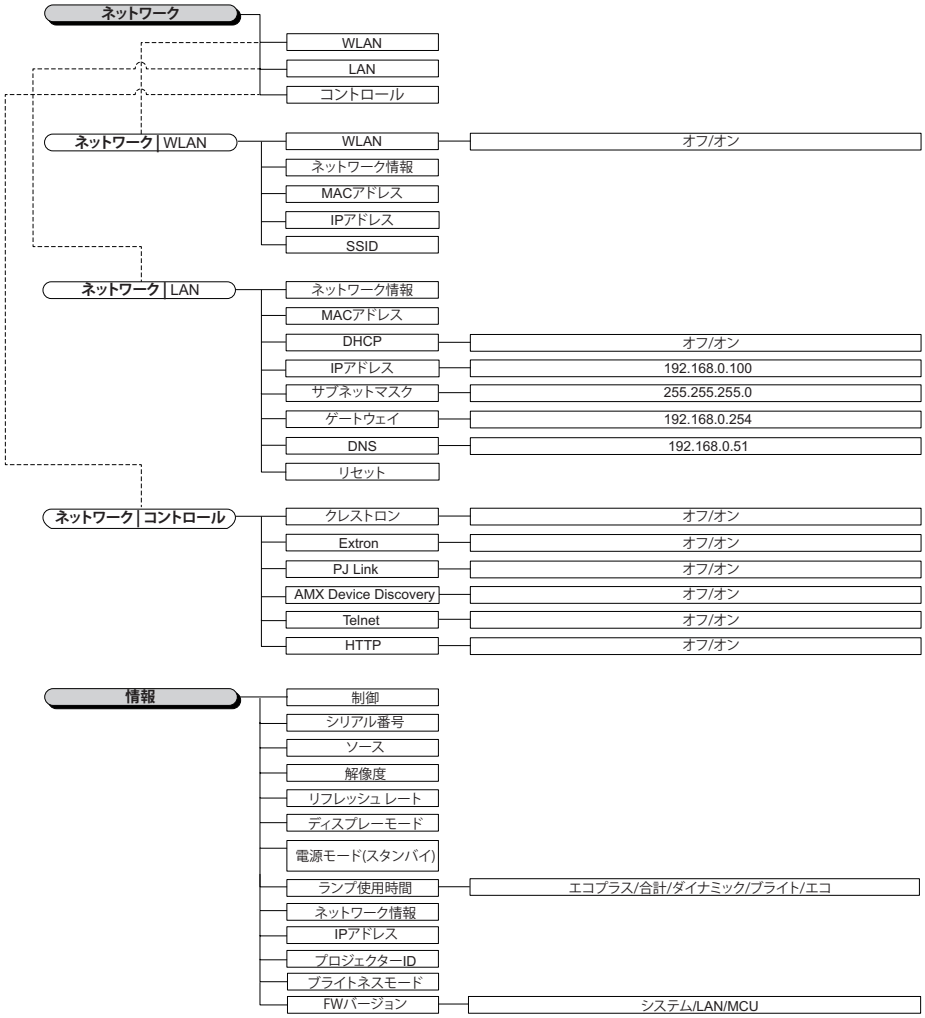
注記:

- *(#)「色」と「色合い」はYUVビデオソースに場合にのみサポートされます。*
- *(*) 互換信号が供給されているとき、「3D」のみ使用できます。*

ユーザーコントロール


セットアップ
設置モード
ランプ設定
電源設定
セキュリティ
HDMIリンク設定
テストパターン
グリッド/白/オフ
リモコン設定
(リモコンによる)
プロジェクターID
オプション
リセット
セットアップ | ランプ設定
ランプ警告
オフ/オン
ランプリセット
キャンセル/はい
セットアップ | 電源設定
電源検知オートパワーオン
オフ/オン
信号検知オートパワーオン
オフ/オン
自動パワーオフタイマー(分)
スリープタイマー(分)
クイックレジューム
オフ/オン
電源モード(スタンバイ)
アクティブ/エコ
セットアップ | セキュリティ
セキュリティ
オフ/オン
セキュリティタイマー
月/日/時
パスワード変更
セットアップ | HDMIリンク設定
HDMIリンク
オフ/オン
インクルーシブTV
いいえ/はい
電源オン設定
双方向設定/プロジェクター->デバイス/デバイス->プロジェクター
電源オフ設定
オフ/オン
セットアップ | リモコン設定
リモコン受光設定
オン/オフ
ユーザー1
HDMI 2/テストパターン/LAN/輝度/コントラスト/スリープタイマー/カラーマッチング/色温度/ガンマ/
設置モード/ランプ設定/ズーム/フリーズ/ネットワーク ディスプレイ/USBディスプレイ/マルチメディア
ユーザー2
HDMI 2/テストパターン/LAN/輝度/コントラスト/スリープタイマー/カラーマッチング/色温度/ガンマ/
設置モード/ランプ設定/ズーム/フリーズ/ネットワーク ディスプレイ/USBディスプレイ/マルチメディア
ユーザー3
HDMI 2/テストパターン/LAN/輝度/コントラスト/スリープタイマー/カラーマッチング/色温度/ガンマ/
設置モード/ランプ設定/ズーム/フリーズ/ネットワーク ディスプレイ/USBディスプレイ/マルチメディア
セットアップ | オプション
言語
English/Deutsch/Français/Italiano/Español/Português/Polski/Nederlands/Svenska/Norsk/
Dansk/Suomi/ελληνικά/繁體中文/簡体中文/日本語/ 한국어/Русский/Magyar/Čeština/
عربی/ไทย/Türkçe/فارسی/ Tiếng Việt/Bahasa Indonesia/Romanian/Slovenčina
メニュー設定
メニュー位置
メニュータイマー
オフ/5 秒/10 秒
入力ソース
HDMI1/HDMI2/MHL/VGA/ネットワーク ディスプレイ/USBディスプレイ/マルチメディア
入力名
HDMI 1
デフォルト/カスタム
HDMI 2/MHL
デフォルト/カスタム
VGA
デフォルト/カスタム
ネットワーク ディスプレイ
デフォルト/カスタム
USBディスプレイ
デフォルト/カスタム
マルチメディア
デフォルト/カスタム
高地モード
オフ/オン
ディスプレイモードロック
オフ/オン
キーパッドロック
オフ/オン
信号表示
オフ/オン
ロゴ
デフォルト/ニュートラル
背景色
なし/青/赤/緑/グレー/ロゴ
セットアップ | リセット
OSDをリセット
キャンセル/はい
初期状態にリセット
キャンセル/はい

ユーザーコントロール


ネットワーク
WLAN
LAN
コントロール
ネットワーク | WLAN
WLAN
オフ/オン
ネットワーク情報
MACアドレス
IPアドレス
SSID
ネットワーク | LAN
ネットワーク情報
MACアドレス
DHCP
オフ/オン
IPアドレス
192.168.0.100
サブネットマスク
255.255.255.0
ゲートウェイ
192.168.0.254
DNS
192.168.0.51
リセット
ネットワーク | コントロール
クレストロン
オフ/オン
Extron
オフ/オン
PJ Link
オフ/オン
AMX Device Discovery
オフ/オン
Telnet
オフ/オン
HTTP
オフ/オン
情報
制御
シリアル番号
ソース
解像度
リフレッシュ レート
ディスプレーモード
電源モード(スタンバイ)
ランプ使用時間
エコプラス/合計/ダイナミック/ブライト/エコ
ネットワーク情報
IPアドレス
プロジェクターID
ブライトネスモード
FWバージョン
システム/LAN/MCU

ユーザーコントロール

表示メニュー



映像設定

映像設定メニューに入ります。詳細は28ページ をご参照ください。

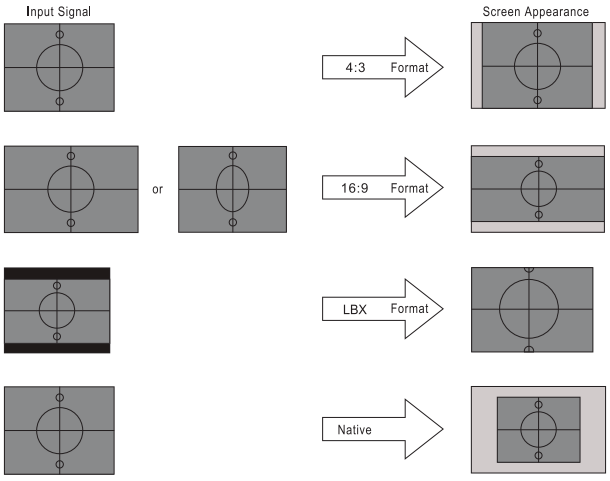
3D

3Dメニューに入ります。詳細は30ページ をご参照ください。

アスペクト比

この機能を使用して所望のアスペクト比を選択してください。

- **4:3:** このフォーマットは、ワイドスクリーンTV用に拡張されていない4x3の入力信号に使用します。
- **16:9:** このフォーマットは、ワイドスクリーンTV用に拡張されたHDTVやDVDなどの、16x9の入力信号に使用します。
- **LBX:** このフォーマットは非16x9、レターボックスソース、そして外部16x9レンズを使用してフル解像度を用いる2.35:1縦横比を表示するユーザー用です。
- **Native（ネイティブ）:** 入力信号の解像度をそのまま使用します。スケール調整は行われません。
- **自動:** 適切なフォーマットを自動的に選択します。



WXGA/1080P

エッジマスク

エッジマスク機能はビデオ映像内のノイズを除去します。エッジマスクはビデオ入力信号の縁においてビデオエンコードノイズを除去し、画質を改善します。

ユーザーコントロール

ズーム

- ◀を押して映像のサイズを縮小します。
- ▶を押して、画面に投影された映像を拡大します。

イメージシフト

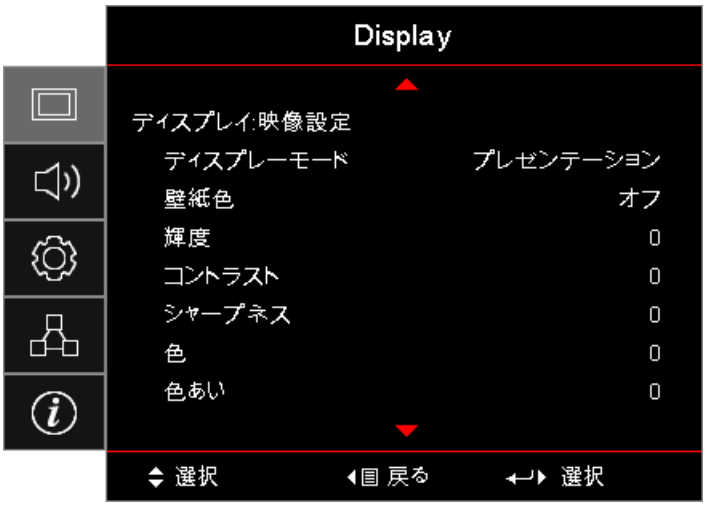
映像の投影位置を水平方向または垂直方向へ移動させます。

- ◀▶を押して、画面に投影された映像を水平方向に移動させます。
- ▲▼を押して、画面に投影された映像を垂直方向に移動させます。

ジオメトリ補正

幾何補正メニューに入ります。詳細は31ページ をご参照ください。

ディスプレイ / 映像設定



ディスプレイモード

様々な映像の種類に合わせて最適化された、多くの工場設定が用意されています。

- **プレゼンテーション:** このモードは、プロジェクターが PC に接続されているときの PowerPoint プレゼンテーション表示に適してします。
- **高輝度:** PC入力の輝度を最大限に高めます。
- **映画:** ホームシアターの場合、このモードを選択します。
- **sRGB:** 色合いを標準化された方法で正確に表現します。
- **黒板:** このモードを選択すると、黒板（緑色）へ表示する際に最適な色合いが得られます。
- **DICOM SIM:** このモードでは、X 線写真、MRI などのモノクロ医療画像を投映することができます。
- **ユーザー:** ユーザー設定を保存します。
- **3D:** 3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を着用する必要があります。ご使用の PC／ポータブル機器が 120Hz 信号出力クワッドバッファ対応グラフィックカードを備えており、3D プレーヤーがインストールされていることをご確認ください。

壁紙色

この機能を用いて、壁面の色に合わせて最適化されたスクリーン映像を得られます。

ユーザーコントロール

輝度

映像の輝度を調整します。

- ◀を押すと映像が暗くなります。
- ▶を押すと映像が明るくなります。

コントラスト

コントラストは、画面で最も明るい箇所と最も暗い箇所の対照を調整します。

- ◀を押すとコントラストが減少します。
- ▶を押すとコントラストが増加します。

シャープネス

映像の鮮明度を調整します。

- ◀を押すと鮮明度が減少します。
- ▶を押すと鮮明度が増加します。

色

ビデオ映像の色を白黒からフルカラーの範囲で調整します。

- ◀を押すと映像内の色の量が減少します。
- ▶を押すと映像内の色の量が増加します。

色あい

赤色と緑色のバランスを調整します。

- ◀を押すと映像内の緑色が増加します。
- ▶を押すと映像内の赤色が増加します。

ガンマ

映画、ビデオ、グラフィック、標準（2.2）、1.8、2.0、2.4からガンマ量を選択します。

カラー設定

映像設定メニューに入ります。詳細は32ページ をご参照ください。

信号

信号メニューに入ります。プロジェクターの信号機能を設定します。この機能は、入力信号がVGAに対応する場合に利用できます。詳細は33ページを参照してください。

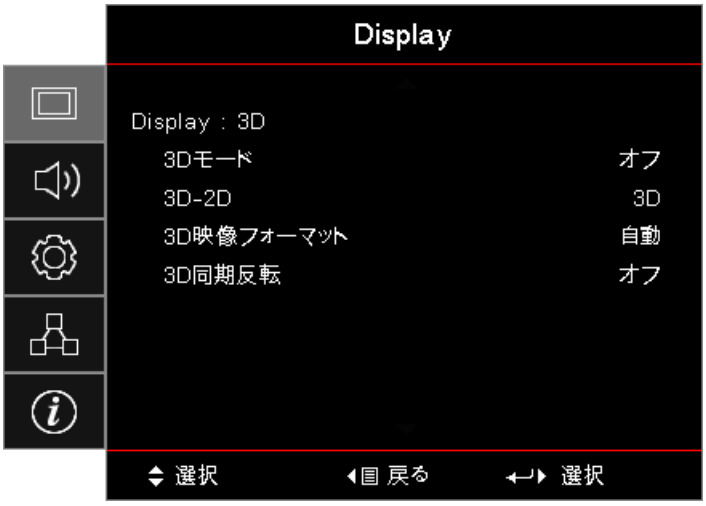
輝度モード

ランプを使用したプロジェクターの輝度モード設定を調整します。

- **高輝度：**「明るい」を選択すると明るさが増します。
- **省電力：**「エコ」を選択するとプロジェクタランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を延長することができます。
- **ダイナミック：** ランプ電力はコンテンツの輝度に合わせて調整され、30%～100%の間でランプの消費電力がダイナミックに変動します。ランプ寿命が延長されます。
- **省電力+：** コンテンツの輝度レベルが自動的に検出され、表示が行われない場合にランプ電力が大幅に抑制されます（最大70%）。

ユーザーコントロール

Display / 3D



3Dモード

- **DLPリンク:** DLPリンク3Dメガネに最適化された設定です。
- **IR:** IRベースの3D映像に最適化された設定です。
- **オフ:** 「オフ」を選択して3Dモードをオフにします。

3D→2D

◄► を押すと、プロジェクターは3Dコンテンツを2D (左)または2D(右)に表示し、3Dメガネがなくとも3Dコンテンツを楽しめます。この設定は、パッシブ3Dインストールを用いるデュアルプロジェクター設定にも使用できます。

3D映像フォーマット

- **自動:** 3D認識信号が検出されると、3Dフォーマットが自動的に選択されます。(HDMI 1.4 3D入力信号のみ)
- **SBS:** 3D信号を隣り合わせの形式で表示します。
- **上下:** 3D信号を上下形式で表示します。
- **フレームシーケンシャル:** 3D信号をフレームシーケンシャル（面順次）形式で表示しま

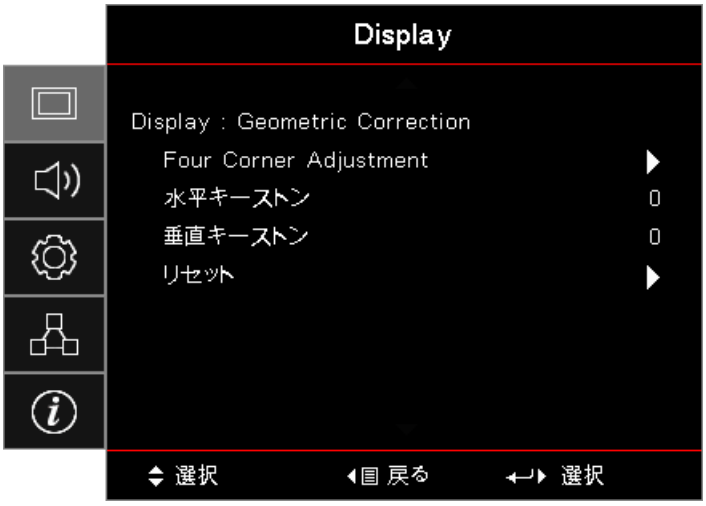
3D同期反転

◄► を押すと、3D同期反転機能が有効または無効になり、映像を反転できます。

注記: 3D*設定は調整後に保存されます。*

ユーザーコントロール

Display / Geometric Correction



Four Corners Adjustment

「はい」を選択すると、幾何補正が行われます。

▲▼◄► キーを使用して四隅を調整します。(Enter)ボタンを押し、▲▼◄►を使用して隅を調整します。
Enterを押し、↑↓ を押して、Geometric Correctionを選択します。

▲▼ を押して、Four Corner Adjustmentを選択します。Four Corner Adjustmentメニューで、▲▼◄► キーを使って、(Enter) ボタンを押して、特定の隅を選択します。▲▼◄► キーを使って、選択した隅を調整します。

水平キーストン

「はい」を選択すると、幾何補正が行われます。

◄► を押して、プロジェクターがスクリーンに対して傾斜して設定されている場合の、水平方向の歪みを補正します。

垂直キーストン

「はい」を選択すると、幾何補正が行われます。

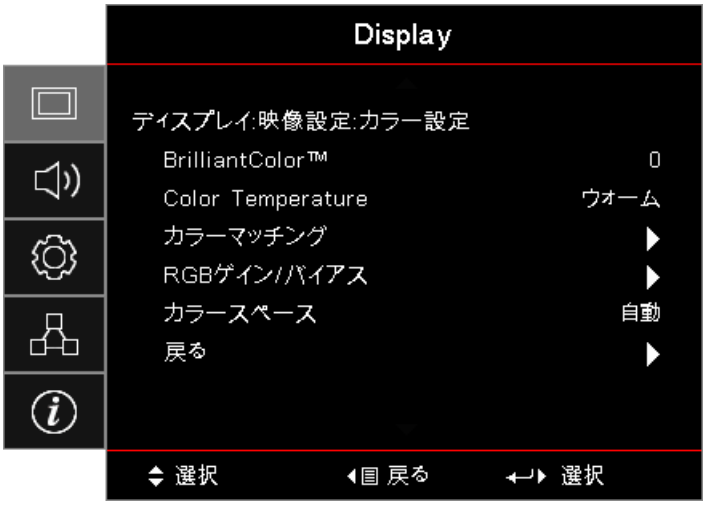
◄►を押して、プロジェクターがスクリーンに対して傾斜して設定されている場合の、垂直方向の歪みを補正します。

リセット

全ての幾何補正値を工場出荷時の設定に戻します。

ユーザーコントロール

ディスプレイ / 映像設定 / カラー設定



BrilliantColor™

この調整可能な項目は、新型のカラー処理アルゴリズムとシステムレベルの強化機能を使用して、より原色に近い、より豊かな画面の色を実現しつつ、輝度をより高めることができます。調整範囲は1～10です。映像をより強化する場合は、最大値へ近づけてください。よりスムーズで自然な映像を目指す場合は、最小値へ近づけてください。

Color Temperature

色温度を調整します。色温度を下げると、画面は冷え冷えとします。色温度を上げると、画面は温かみを持ちます。

カラーマッチング

カラーマッチングメニューに入ります。詳細は34ページ をご参照ください。

RGBゲイン／バイアス

- **RGBゲイン／バイアス：** 映像の輝度（ゲイン）とコントラスト（バイアス）を調整できます。
- **リセット：** RGBゲイン／バイアスを工場出荷時の設定に戻します。

カラースペース

AUTO、RGB、YUVから適切なカラーマトリクスを選択します。

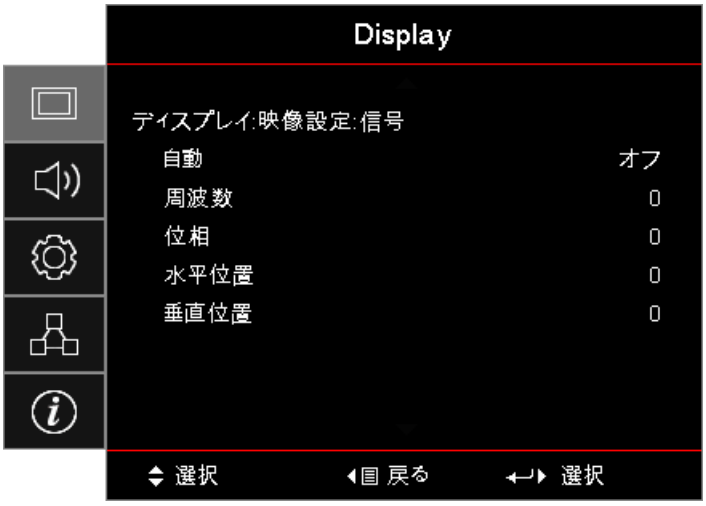
- **HDMIのみ：** 自動、RGB (0-255)、RGB (16-235)、YUVからカラーマトリックスを選択します。

注記：

- *拡張カラー範囲：HDMI カラー範囲を 0 ～ 255 として設定します。*
- *標準カラー範囲：HDMI カラー範囲を 16 ～ 235 として設定します。*

ユーザーコントロール

ディスプレイ / 映像設定 / 信号



自動

自動をオンまたはオフにして、位相と周波数機能をロックまたはロック解除できます。

- **無効:** 自動ロックをオフにします。
- **有効:** 自動ロックをオンにします。

周波数

ディスプレイのデータ周波数を、コンピューターのグラフィックスカードの周波数へ一致させます。垂直方向にフリッカバーが出現する場合、この機能を用いて調整できます。

位相

位相はディスプレイの信号タイミングをグラフィックスカードと同期させます。映像が不安定だったりちらつく場合、この機能を用いて調整できます。

水平位置

- ◀を押すと映像が左に移動します。
- ▶を押すと映像が右に移動します。

垂直位置

- ◀を押すと映像が下に移動します。
- ▶を押すと映像が上に移動します。

ユーザーコントロール

ディスプレイ / 映像設定 / カラーマッチング



色（白色を除く）

◄► を押して色を選択します。

▲▼を押して色調、彩度、ゲインを選択し、◄►を押して設定します。

白色

◄►を押して白色を選択します。

▲▼を押して赤、緑、青を選択し、◄►を押して設定を調整します。

リセット

全てのカラー設定値を工場出荷時の設定に戻します。

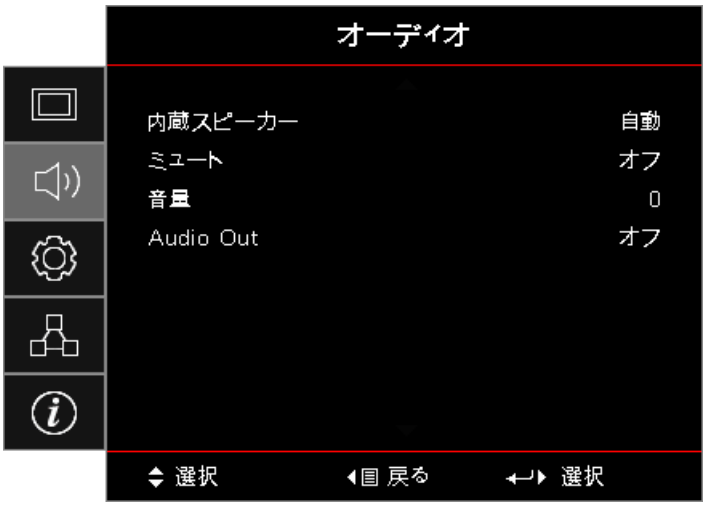
戻る

カラーマッチングメニューを終了します。

注記：

- *各カラーHSGを通じて、緑、青、青緑、黄、赤紫を個別に調整できます。*
- *白は、赤、緑、青色をそれぞれ調整して、設定できます。*

オーディオ



内蔵スピーカー

- **自動：** 自動的に内蔵スピーカーを調整します。
- **オフ：** 内蔵スピーカーをオフにします。
- **オン：** 内蔵スピーカーをオンにします。

ユーザーコントロール

ミュート

オーディオをオンまたはオフに切り替えます。

- **オフ:** スピーカーのボリュームとオーディオ出力はオンにされます。
- **オン:** スピーカーのボリュームとオーディオ出力はオフにされます。

音量

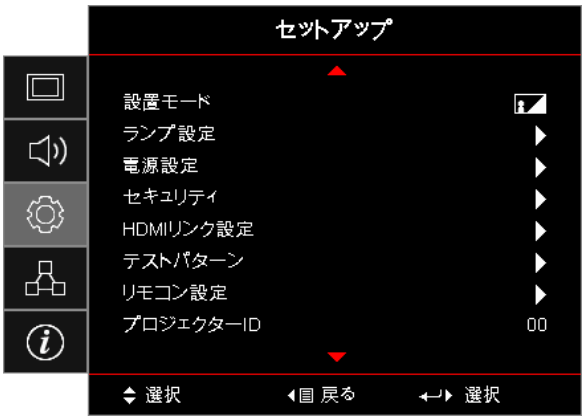
◀を押すとボリュームが下がります。

▶を押すとボリュームが上がります。

Audio Out

◀▶を押してオーディオ出力を選択します。

セットアップ



設置モード

投影方法を選びます。

- デスクトップ前方
  工場出荷時の設定です。
- デスクトップ後方
  この機能を選択すると、プロジェクターは映像を左右に反転し、透明スクリーンの裏側から映像を投影できるようになります。
- 天井取付け
  この機能を選択すると、プロジェクターは天井取付け用に映像を上下に反転します。
- 天井取付け + 左右反転
  この機能を選択すると、プロジェクターは天井取付け用に映像を上下に反転させ、同時に左右に反転させます。天井取付けの状態で、透明スクリーンの裏側から映像を投影できます。

ランプ設定

ランプ設定メニューに入ります。詳細は36ページ をご参照ください。

電源設定

電源設定メニューに入ります。詳細は37ページを参照してください。

セキュリティ

セキュリティメニューに入ります。詳細は38ページを参照してください。

ユーザーコントロール

HDMIリンク設定

HDMIリンク設定メニューに入ります。詳細は40ページを参照してください。

テストパターン

テストパターンを表示します。グリッド、ホワイト、空白が選択できます。

リモート設定

リモート設定メニューに入ります。詳細は 41ページを参照してください。

プロジェクターID

00～99の間で、2桁のプロジェクターIDを選択します。

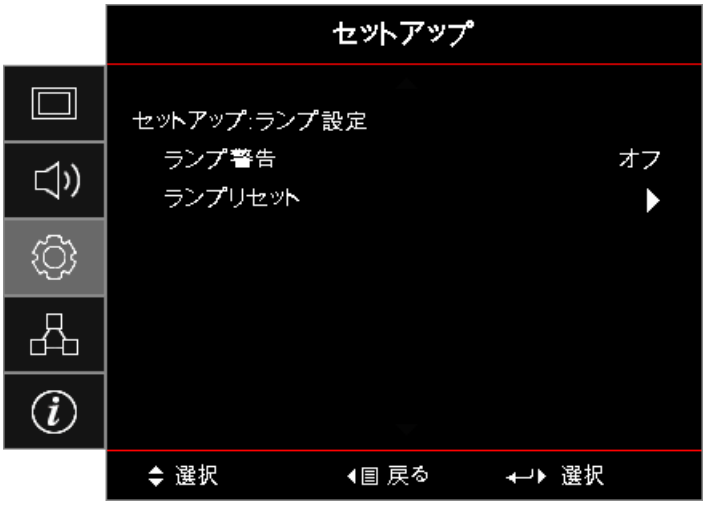
オプション

オプションメニューに入ります。詳細は41ページを参照してください。

リセット

全てのオプションを工場出荷時の設定に戻します。

セットアップ / ランプ設定



ランプ警告

ランプ寿命の通知を有効または無効にします。

- **オン:** ランプの残存寿命が30時間未満になると、警告メッセージが表示されます。
- **オフ:** 警告メッセージは表示されません。

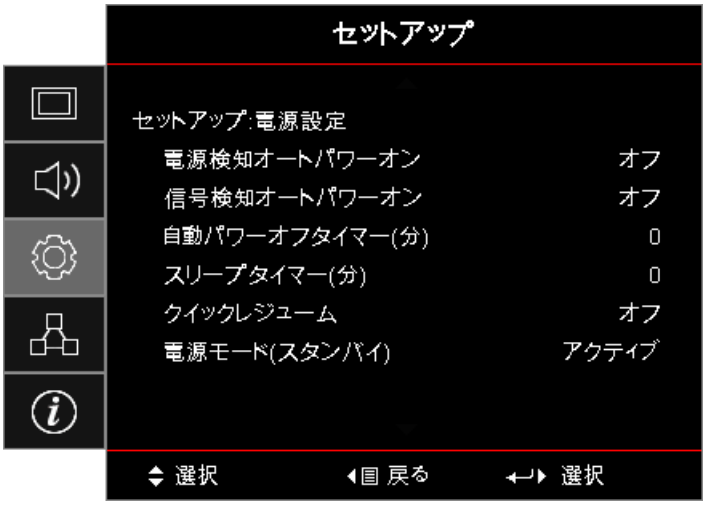
ランプリセット

ランプを交換した後、ランプのカウンターをリセットして、新たなランプの寿命が正しく反映されるようにします。

1. ランプのリセットを選択します。
   確認画面が出現します。
2. はいを選択してランプのカウンターをゼロに戻します。

ユーザーコントロール

セットアップ / 電源設定



電源検知オートパワーオン

電源検知オートパワーオン

- **オン:** プロジェクターはAC電源が接続されると自動的にオンになります。
- **オフ:** プロジェクターは通常通り電源オンする必要があります。

信号検知オートパワーオン

電源の信号オン機能を有効または無効にします。

- **オン:** プロジェクターは有効な信号が検出されると自動的にオンになります。
- **オフ:** プロジェクターは有効な信号を検出してもオンになりません。

注記:

- *VGA または HDMI 信号入力で利用可能です。*
- *入力信号をオンにしたまま(最後の画像が画面に表示されたまま)プロジェクターをオフにしても、再起動しません。ただし、以下の場合は例外です。*
  - *最後の画像信号をオフにして、新たな信号を再入力した場合。*
  - *プロジェクターの電源をコンセントから抜いて、再度接続した場合。*
- *オプション機能は地域により異なります。*
- *スタンバイモードが有効な場合にのみ、機能します。*

自動パワーオフタイマー(分)

自動電源オフ機能の間隔を設定します。プロジェクターは、入力信号が0分間存在しない場合はデフォルトで電源をオフにします。警告メッセージが電源オフの前、60秒間表示されます。

スリープタイマー(分)

スリープタイマーの間隔を設定します。指定時間動作が行われない場合、プロジェクターの電源はオフになります(信号の有無に関わらず)。警告メッセージが電源オフの前、60秒間表示されます。

クイックレジューム

クイックレジュームがオンの場合、プロジェクターがオフにされて100秒以内に再度オンになった場合、プロジェクターは素早く動作を再開します。

注記: *プロジェクターの電源が100%オフになるためには、ユーザーは100秒間待つ必要があります。*

ユーザーコントロール

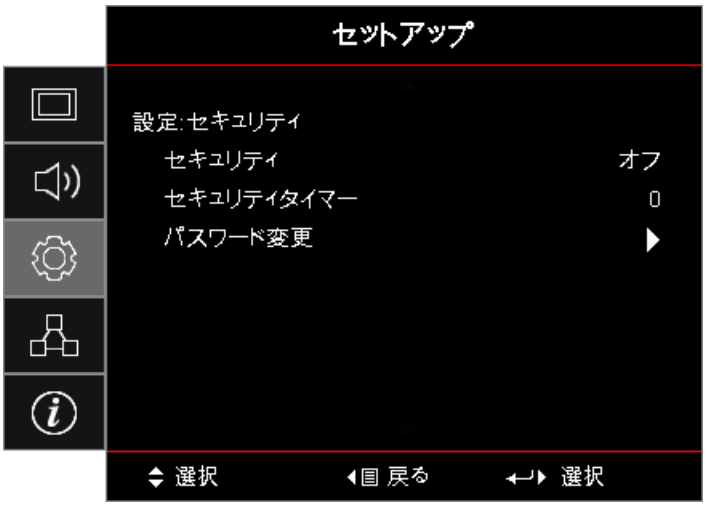
電源モード（スタンバイ）

- **省電力：**「省電力」を選択すると、消費電力を < 0.5Wへ抑えられます。
- **アクティブ：**「アクティブ」を選択すると、通常のスタンバイに戻ります。

注記：

- *電源モード（スタンバイ）が省電力に設定される場合、VGAとオーディオ信号はスルーされ、RJ45は無効になります。RS232制御は、一部を除いて使用できなくなります。*
- *オプション機能は地域により異なります。*

設定 / セキュリティ

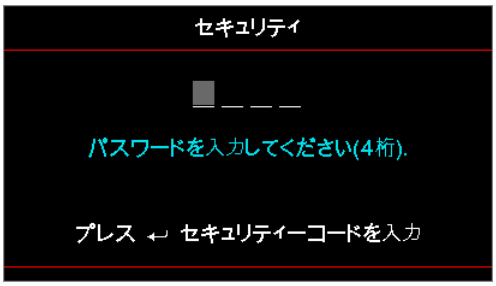


セキュリティ

セキュリティパスワードを有効または無効にします。

- **オン：** プロジェクターの電源をオンにし、セキュリティメニューにアクセスするために、現行のパスワードが必要となります。
- **オフ：** システムの電源を入れた後は、パスワードは不要です。

セキュリティが有効になると、起動時と、セキュリティメニューへのアクセス時に、以下の画面が表示されます。



注記： *デフォルトパスワード：1、2、3、4。*

セキュリティタイマー

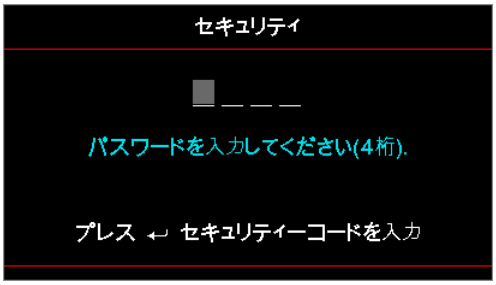
セキュリティタイマーのサブメニューに入ります。

パスワードを入力せずにプロジェクターを使用できる月数、日数、時間数を入力します。終了してセットアップメニューへ戻ると、セキュリティタイマーのカウントダウンが開始されます。

一旦有効になると、プロジェクターは指定された日時が経過した後、電源をオンにする場合とセキュリティメニューへアクセスする場合に、パスワードを要求します。

ユーザーコントロール

プロジェクターが使用中にてセキュリティタイマーが発動すると、以下の画面が60秒間表示され、パスワードが要求されます。

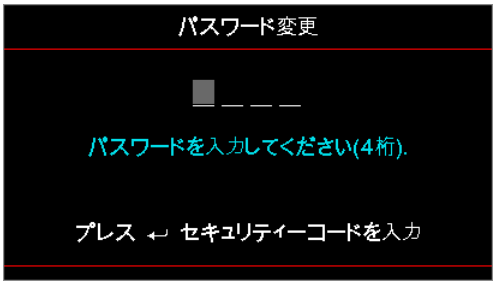


注記： *誤ったパスワードが3回入力されると、デバイスは10秒後にシャットダウンします。*

パスワード変更

パスワード変更

1. セキュリティサブメニューからパスワード変更を選択します。パスワード変更の確認用ダイヤログボックスが出現します。
2. はいを選択します。
3. デフォルトのパスワード、<1> <2> <3> <4>を入力します。
   第二パスワード画面が出現します。

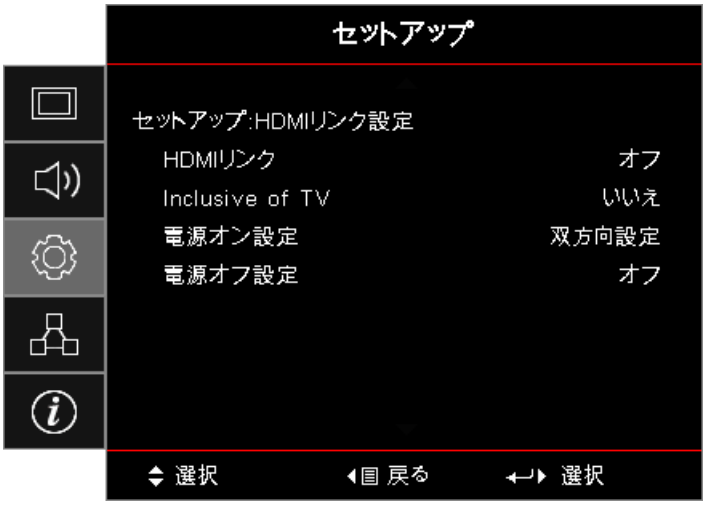


4. 新パスワードを確認用に2回入力します。

注記： *入力されたパスワードが一致しない場合、パスワード画面が再度表示されます。*

ユーザーコントロール

セットアップ / HDMIリンク設定



HDMI リンク

HDMIリンク機能を有効または無効にします。TVの包含、パワーオンリンク、パワーオフリンクは、この設定がOn（オン）の場合にのみ利用可能となります。

注記： *HDMI CED準拠デバイスを、HDMIケーブルを用いてプロジェクターに接続する場合、プロジェクターのOSDにて、HDMIリンク制御機能を通じ、電源オン／オフステータスを同期させて制御できます。これはHDMIリンク機能の通常設定にて、1台または複数台のデバイスをまとめて電源オンまたはオフにします。DVDプレーヤーを、アンプやホームシアターシステムを通じてプロジェクターへ接続できます。*

- *オプション機能は地域により異なります。*
- *スタンバイモードが有効な場合にのみ、機能します。*

Inclusive of TV

TVとプロジェクターを同時に電源オフしたい場合は、Yes（はい）に設定します。両方のデバイスを同時にオフにする場合は、No（いいえ）に設定します。

電源オン設定

必要に応じてCEC電源をオンにします。

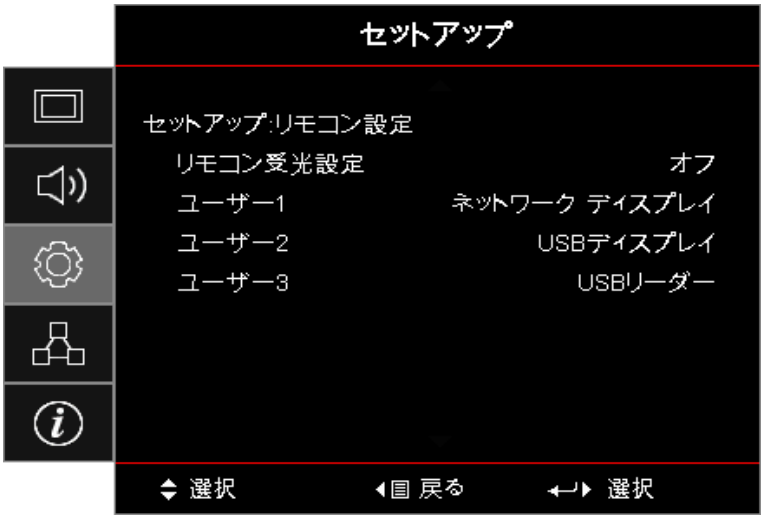
- **双方向設定：** プロジェクターとCECデバイスは同時に電源オンされます。
- **プロジェクター -> デバイス：** プロジェクターの電源が入った後、CECデバイスはオンになります。
- **デバイス -> プロジェクター：** CECデバイスの電源が入った後、プロジェクターはオンになります。

電源オフ設定

設定が「オン」の場合、HDMIリンクとプロジェクターは両方、同時に自動的に電源をオフにされます。設定が「オフ」の場合、HDMIリンクとプロジェクターは両方、同時に自動的に電源をオフにされることはありません。

ユーザーコントロール

セットアップ / リモコン設定



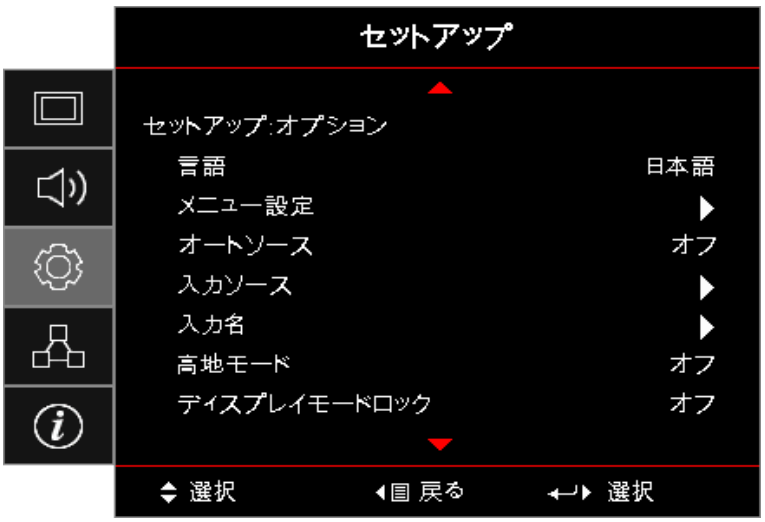
リモコン受光設定

プロジェクターのIR機能を有効または無効にします。

ユーザー1 / ユーザー2 / ユーザー3

ユーザー1、ユーザー2、ユーザー3キーをLAN、輝度、コントラスト、スリープタイマー、カラーマッチング、色温度、ガンマ、投影、ランプ設定、ズーム、テストパターン、フリーズ、ネットワークディスプレイ、USBディスプレイ、USB リーダー、HDMI2機能のホットキーに割り当てられます。

セットアップ / オプション



言語

言語メニューに入ります。マルチ言語OSDメニューを選択します。

メニュー設定

画面のメニュー位置を設定し、メニューのタイマーを設定します。

自動ソース

利用可能な入力源をプロジェクターに自動検出させるには、このオプションを選択します。

入力ソース

入力信号サブメニューに入ります。起動時にスキャンする入力信号を選択します。

ユーザーコントロール

入力名

入力信号の名前を変え、分かりやすくします。HDMI1、HDMI2/MHL、VGA、ネットワークディスプレイ、USBディスプレイ、USB リーダーが利用可能です。

高地モード

環境に合わせてファン速度を調整します。

- **オン：** 高温、高湿、高地においてファン速度を増加させます。
- **オフ：** 通常条件用に、ファン速度を通常に保ちます。

ディスプレイモードロック

「オン」または「オフ」を選択し、ディスプレイモードの設定を調整します。

キーパッドロック

プロジェクター上端のボタンをロックします。

- **オン：** キーパッドロックを確認する警告メッセージが出現します。
- **オフ：** キーパッド機能は通常通りに使用できます。

注記： *キーパッドで (Enter) (Enter) ボタンを10秒間押し続けると、キーパッドをロック解除します*

情報を非表示

投影画面に通知メッセージを表示しないようにします。

- **オン：** 動作中は画面上にステータスメッセージが表示されません。
- **オフ：** ステータスメッセージは動作中に通常通り画面に表示されます。

ロゴ

起動中に表示する画面を選択します。

- **デフォルト：** デフォルトの起動画面が表示されます。
- **ニュートラル：** 背景色が表示されます。

背景色

入力信号が検出されない場合に、所望の背景色を投影画像の背景色に選べます。

リセット

- **OSDリセット：** OSDメニュー設定を工場出荷時の設定に戻します。
- **デフォルトへリセット：** セットアップメニュー設定を工場出荷時の設定に戻します。

ユーザーコントロール

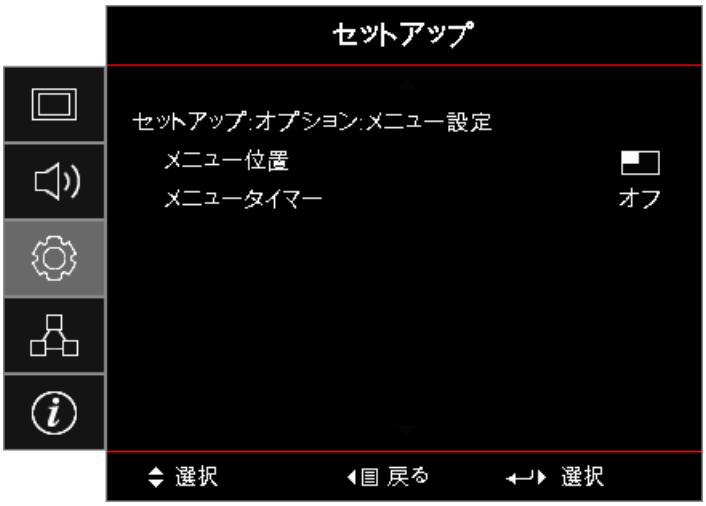
セットアップ / オプション / 言語



言語

マルチ言語OSDメニューを選択します。サブメニューにて Enter **(Enter)** ボタンを押し、上(▲)または下(▼)キーを用いて、所望の言語を選択します。

セットアップ / オプション / メニュー設定



メニュー位置

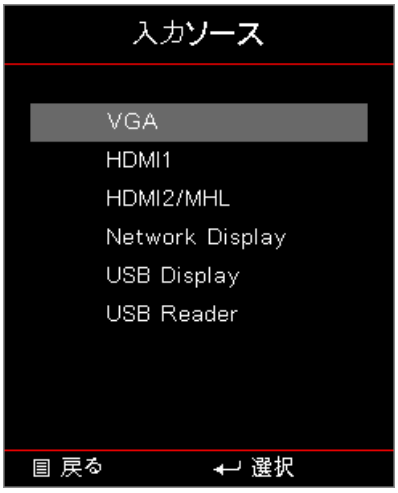
表示画面上のメニュー位置を選択します。

メニュータイマー

OSDメニューが画面上に表示される時間を設定します。

ユーザーコントロール

セットアップ / オプション / 入力ソース



入力ソース

このオプションを使用して入力信号を選択します。▲▼を押して入力信号を選択します。Enter **(Enter)** ボタンを押して選択を確定します。

ネットワーク



WLAN

- **WLAN：** オフ／オン
- **Network Status（ネットワークステータス）：** 読取のみです。
- **MAC Address（MACアドレス）：** 読取のみです。
- **IP Address（IPアドレス）：** 読取のみです。
- **SSID：** 読取のみです。

LAN

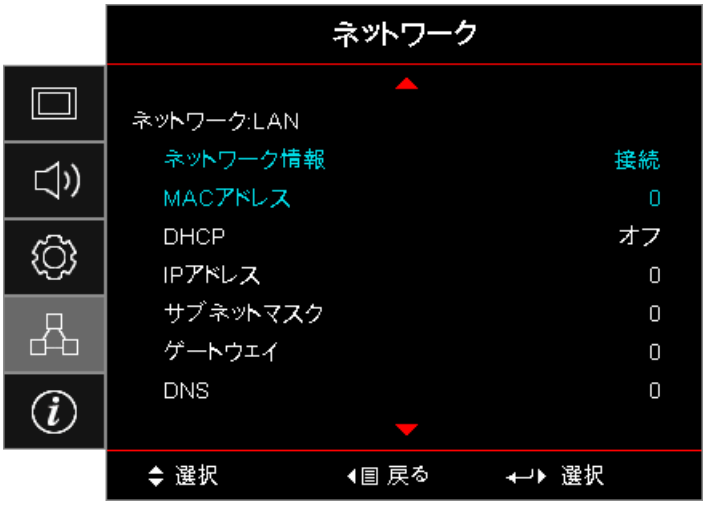
LANメニューに入ります。詳細は45ページを参照してください。

コントロール

LANメニューに入ります。詳細は46ページを参照してください。

ユーザーコントロール

ネットワーク / LAN



注記： *ネットワークサブメニューはネットワークケーブルが接続されている場合にのみアクセスできます。*
接続が無事行われていれば、OSD画面は以下のダイヤログボックスを表示します。

- **ネットワーク状態：** ネットワーク状態を表示します。
- **MACアドレス：** 読取のみです。
- **DHCP:**
  - オン：DHCP サーバーから自動的に IP アドレスをプロジェクターに割り当てます。
  - オフ：IPアドレスを手動で割り当てます。
- **IPアドレス：** IPアドレスを選択します。
- **サブネットマスク：** サブネットマスク番号を選択します。
- **ゲートウェイ：** プロジェクターに接続しているネットワークのデフォルト ゲートウェイを選びます。
- **DNS：** DNS番号を選択します。
- **適用：** (Enter) **(Enter)** ボタンを押して選択を確定します。

ユーザーコントロール

ネットワーク / コントロール



クレストロン

◄► を押してCrestronを有効または無効にします。

ポート：41794

Extron

◄► を押してExtronを有効または無効にします。

ポート：2023

PJ Link

◄► を押してPJリンクを有効または無効にします。

ポート：4352

AMX Device Discovery

◄► を押してAMXデバイス検出を有効または無効にします。

ポート：9131

Telnet

◄► を押してTelnetを有効または無効にします。

ポート：23

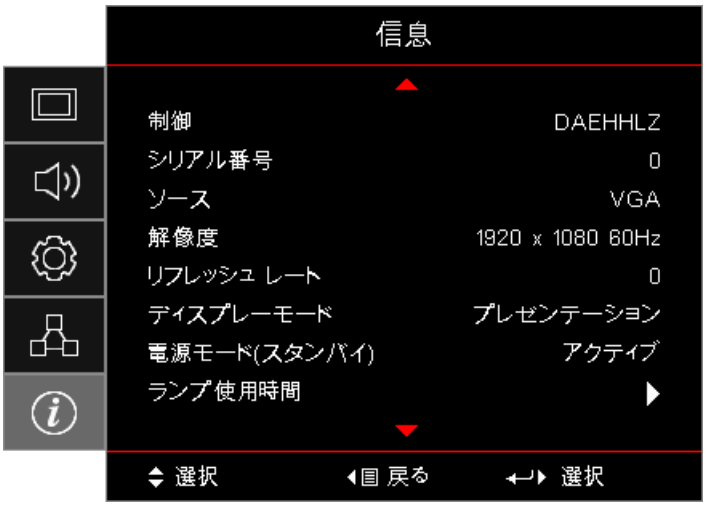
HTTP

◄► を押してHTTPを有効または無効にします。

ポート：80

ユーザーコントロール

信息



以下に列挙されるプロジェクターの関連情報を閲覧できます。

- 制御
- シリアル番号
- ソース
- 解像度
- リフレッシュレート
- ディスプレーモード
- 電源モード（スタンバイ）
- ランプ使用時間
- ネットワークステータス
- IPアドレス
- プロジェクターID
- 輝度モード
- ファームウェアバージョン

ユーザーコントロール

USB リーダー

フォトビューアーおよびドキュメントビューアー

コンテンツを表示するために、必ずしも、PC またはモバイルデバイスを必要としません。内蔵 USB リーダーを使用して、USB ストレージデバイスを接続することにより、PowerPoint、Word、Excel および PDF ファイルフォーマットを含む、写真およびドキュメントを直接表示できます。

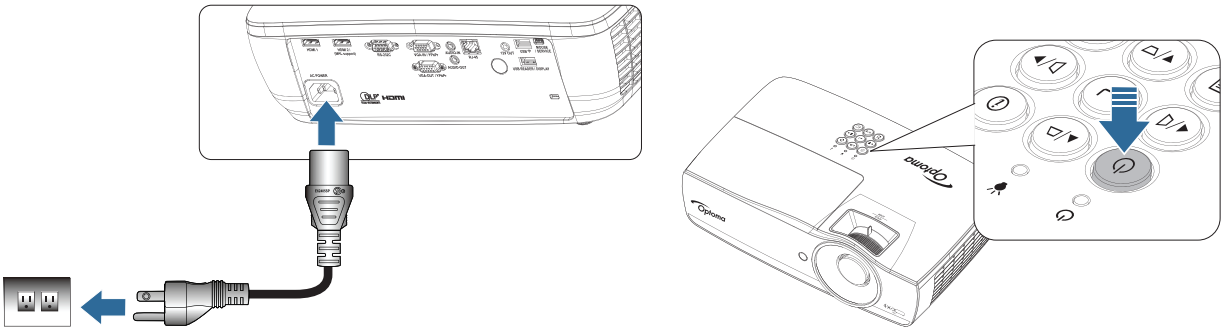
USBを使用してマルチメディアのファイルタイプを設定する方法

注記:

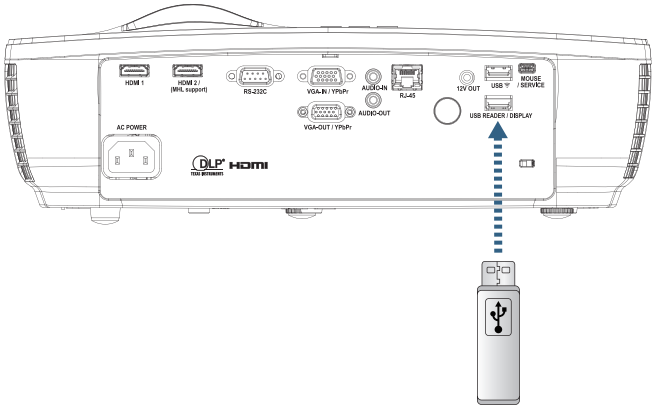
- *USBはUSB 2.0をサポートします*
- *USBディスクは、最大64GBをサポートします。*
- *USBディスクは、1つのパーティションと1台のデバイスのみをサポートします。*
- *マルチメディアUSB機能を使用する場合、USBメモリーをプロジェクターに挿入する必要があります。*
- *カメラ用のUSBポートは互換性の衝突が生じるので、使用しないでください。*

以下のステップに従い、写真、ビデオ、音楽ファイルをプロジェクターで再生できます。

1. ACアダプターを通じて電源ケーブルを接続し、プロジェクターの電源ボタンを押して電源をオンにします。

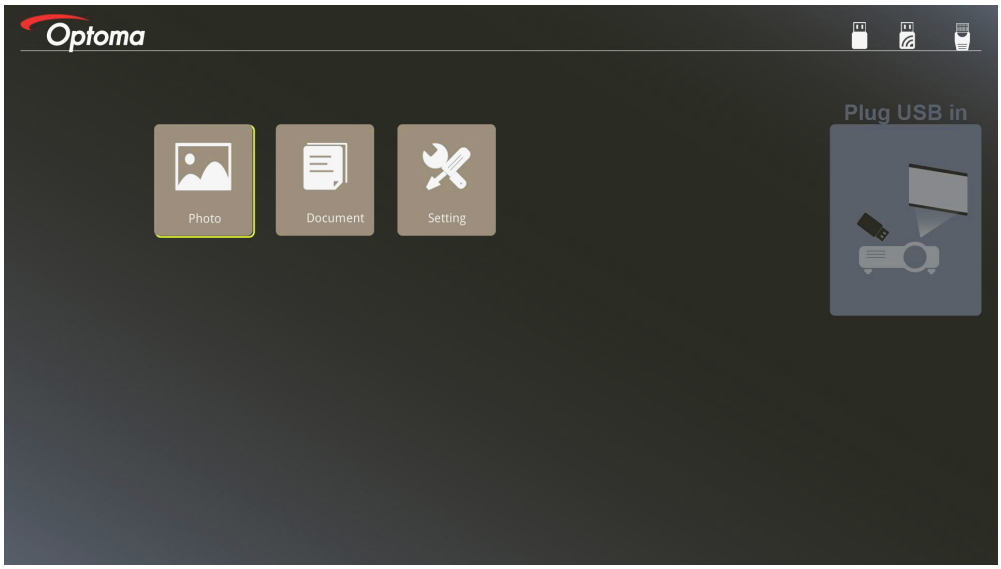


2. **USBメモリー**をプロジェクターへ接続します。



ユーザーコントロール

メディアメニューを開く場合、リモコンまたはキーパッドにて (Source) **(Source)**ボタンを押して選択します。USB リーダーメニューを開きます。



ユーザーコントロール

3. USBメニューへ入り、マルチメディアファイルを選びます。Photo（写真）、またはDocument（ドキュメント）が選択可能です。または、設定オプションを選択し、写真、またはドキュメントの設定を変更します。
4. 開くファイルを選択します。

マルチメディア設定では、ディスプレイ比と、写真やドキュメントの表示間隔を変更できます。

USB サポートフォーマット

ストレージ	機器タイプ	ファイルシステム	ファイル／ディレクトリレベル
USB	USB フラッシュ	FAT16, FAT32, NTFS, ExFAT	最大 999 のディレクトリ／ファイルをサポートします。 最大 100 文字のパスをサポートします。

写真サポートフォーマット

画像フォーマット	プロファイル	色空間	サイズ制限
JPEG	ベースライン	YUV400	8000*6000
		YUV420	8000*6000
		YUV422	8000*6000
		YUV440	8000*6000
		YUV444	8000*6000
	プログレッシブ	YUV400	幅 <= 8000 かつ 高さ <= 6000
		YUV420	
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	

- 推奨：BMP および JPG プログレッシブファイルのサポートサイズを制限します。
- BMP 解像度は、最大 1600 x 1200 (3.2 秒) をサポートします。
- JPEG プログレッシブ解像度は、最大 1600 x 1200 をサポートします。

ユーザーコントロール

ドキュメントサポートフォーマット

ファイルフォーマット	サポートバージョン	ページ／行の制限	サイズ制限	コメント
Adobe PDF	PDF 1.0	最大 1000 ページ (1 ファイル当たり)	最大75 MB	-
	PDF 1.1			
	PDF 1.2			
	PDF 1.3			
	PDF 1.4			
MS Word	British Word 95	Office ビューアは、MS Word ファイルのすべてのページを同時にロードしないため、ページおよび行の明示的な制限はありません。	最大100 MB	簡体字中国語フォントでは、太字テキストをサポートしていません
	Word 97, 2000, 2002, 2003			
	Word 2007 (.docx), 2010 (.docx)			
MS Excel	British Excel 5, 95	行の制限：最大 595	最大15 MB	パスワード保護されたシートをサポートしません
	Excel 97, 2000, 2002, 2003	列の制限：最大 256		
	Excel 2007 (.xlsx), 2010 (.xlsx)	シート：最大 100		
	Office XP Excel	注記：これら 3 つの制限のいずれも、1 つの Excel ファイルに同時に表示することはできません		
MS PowerPoint	British PowerPoint 97	最大 1000 ページ (1 ファイル当たり)	最大19 MB	SlideShow 順序をサポートしません
	PowerPoint 2000, 2002, 2003			
	PowerPoint 2007 (.pptx)			
	PowerPoint 2010 (.pptx)			
	Office XP PowerPoint			
	PowerPoint presentation- -2003 and earlier(.pps)			
	PowerPoint presentation- -2007 and 2010 (.ppsx)			

注記： *PowerPoint のアニメーションはサポートされません。*

ユーザーコントロール

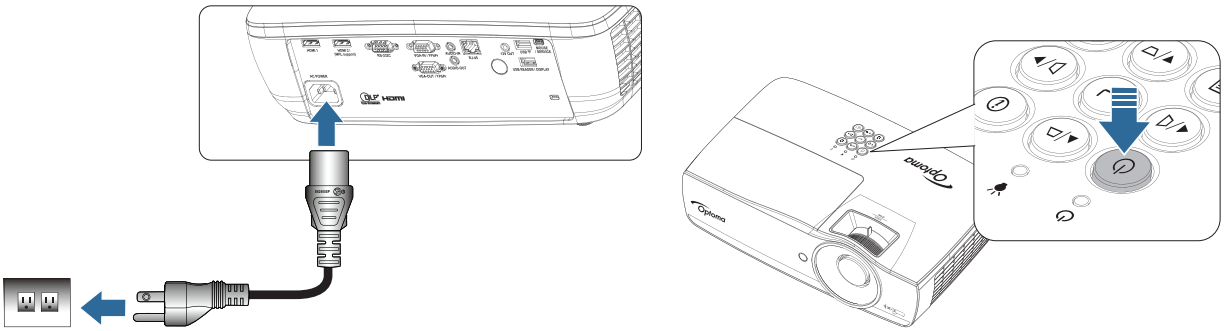
USB ディスプレイ (モバイルデバイスを USB ポートに直接接続します)

USB ケーブルによる画面のミラーリング

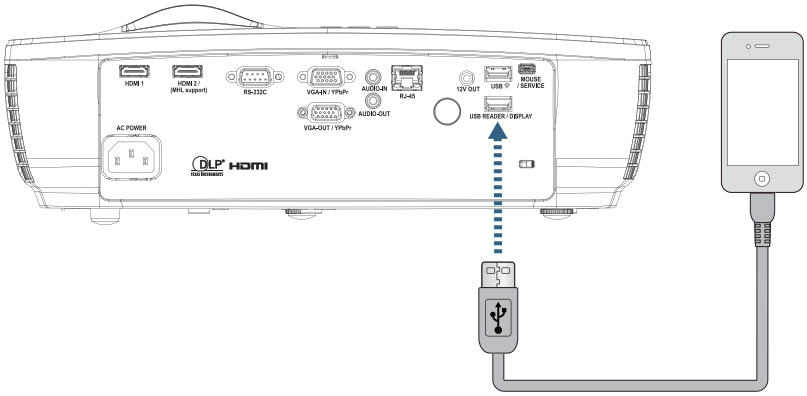
USB 充電ケーブルで、デバイスをプロジェクターに接続することにより、iOS または Android デバイスの画面をミラーリングします。コンテンツを大画面に便利かつ簡単に共有します。

プロジェクターにミラーリングするには:

1. ACアダプターを通じて電源ケーブルを接続し、プロジェクターの電源ボタンを押して電源をオンにします。



2. プロジェクターとモバイルデバイスを USB ケーブルで接続します。



USB ディスプレイメニューを開くには、リモコンまたはキーパッドの Source **(Source)** ボタン押して、USB Display menu opens(USB ディスプレイメニューを開く)を選択します。

iOS デバイスをお持ちの場合は、デバイスでミラーリング機能を有効にします。iOS デバイスの画面が、プロジェクターに表示されます。

Android デバイスの場合は、次のガイドラインに従います:

a) **設定** > **その他** > **テザリング&ポータブルホットスポット**をタップして、**USB テザリング**を有効にします。

b) Google Play から、HDCast Pro をダウンロードします。

c) HDCast Pro アプリをモバイルデバイス上で開きます。

d) HDCast Pro のメニューに従って、プロジェクタを選択し、接続されているスマートデバイスからメディアを表示します。

ユーザーコントロール

ネットワークディスプレイ

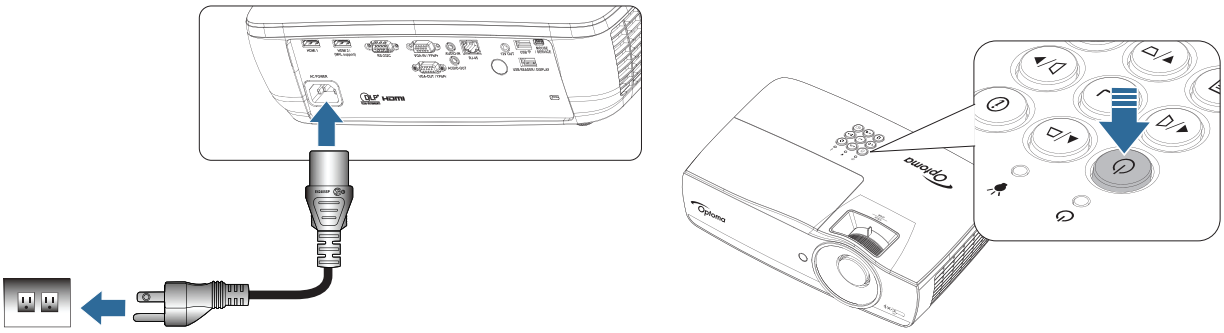
オプションの Wi-Fi ドングルを用いるワイヤレス投影

オプションの Wi-Fi ドングルと無料モバイルアプリを使用して、ノートパソコン、タブレットまたはモバイルデバイスにワイヤレスに接続し、コンテンツを大画面に投影できます。最大 4 台のデバイスを同時にプロジェクターに接続できます。

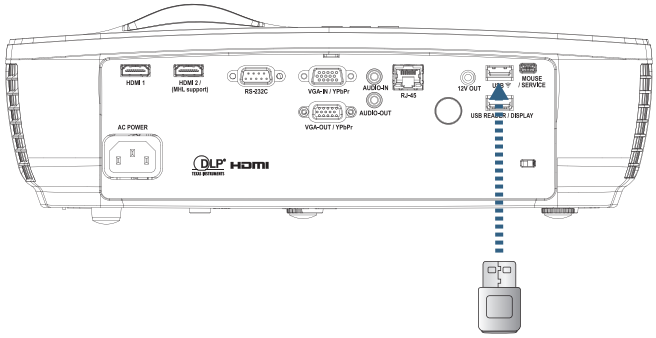
Wi-Fi ディスプレイにより、ケーブルの乱雑さを排除し、接続の多様性が向上します。

以下の手順に従い、携帯デバイスの画面を投影できます。

1. ACアダプターを通じて電源ケーブルを接続し、プロジェクターの電源ボタンを押して電源をオンにします。



2. 携帯デバイスのOSに応じて、App Store (iOS)またはGoogle Play (Android)を開き、HDCast Proアプリを携帯デバイスにインストールします。
   ノートパソコンを使用している場合、HDCast Proアプリを *www.optoma.com/hdcastpro* ウェブサイトからダウンロードします。
3. Wi-Fiドングル(オプション)をプロジェクターへ接続します。



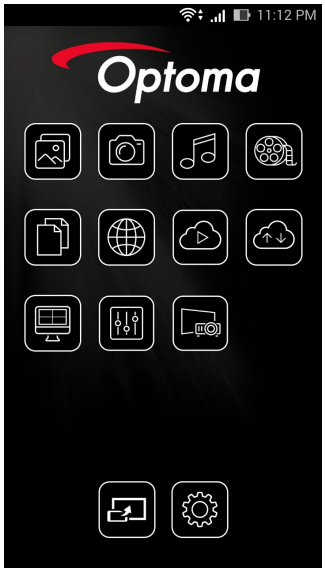
4. 携帯デバイスをWi-Fi経由でプロジェクターへ接続します。接続パラメーターの一例を以下に記します。
   - プロジェクターのSSID：HDCastPro_XXXXXXXX
   - Wi-Fiパスワード：XXXXXXXX

注記： *プロジェクターのSSIDとWi-Fiパスワードは、接続されたWi-Fiドングルに応じて異なります。*

ユーザーコントロール

5. HDCast Proアプリを携帯デバイス上で開きます。
以下の画面が開きます。

Android



Windows



6. HDMirror (Android)をメニューから選び、携帯デバイスの画面を投影します。

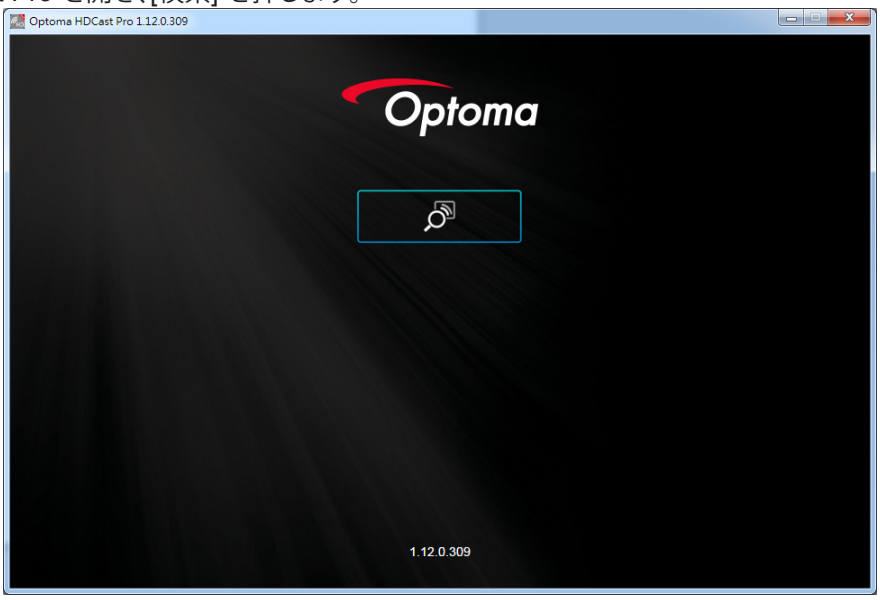
WiFi サポート OS

- iOS は、最新の 2 つのバージョンをサポートします。
- Android 5.0 以降。
- MACOS は、最新の 2 つのバージョンをサポートします。
- Windows 7 以降および Chrome OS。
  * 一部の Windows 10 は拡張モードをサポートしていませんが、2017 年に完成します。

ユーザーコントロール

LAN ディスプレイ

1. RJ45 ケーブルを、プロジェクターおよび PC/MAC (ノートパソコン) の RJ45 ポートに接続します。
   プロジェクターおよび PC/MAC を同じローカルネットワークに配置してください。
2. PC/MAC HDCast Pro ソフトウェアを *https://www.optoma.com/hdcastpro/* から取得し、
   インストールします。
3. プロジェクターに電源を入れます - プロジェクターが IP アドレスを取得していることを確認します。
4. ソースをネットワークディスプレイに変更します。
5. HDCast Pro を開き、[検索] を押します。



PC/MAC とプロジェクターの間の接続が完了したら、HDCastPro が対応するプロジェクターを検索します。



6. プロジェクターをダブルクリックして接続します。
7. 接続後、[ミラーオン/オフ] を選択して、PC/MAC の画面のミラーリングを開始します。

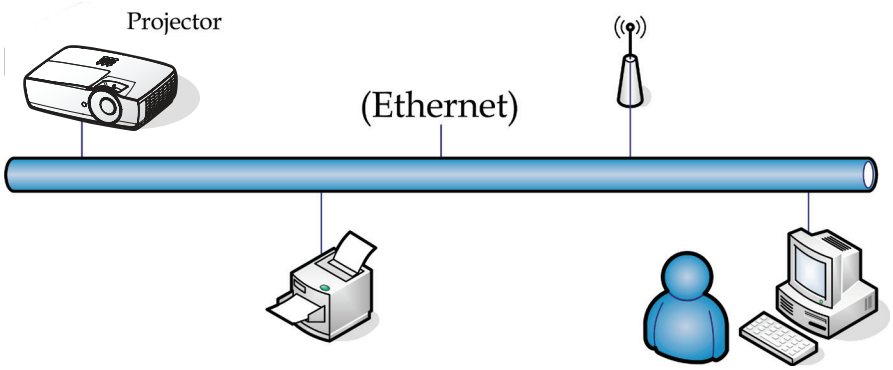
注記: *プロジェクターと PC が同じネットワーク上にあるようにしてください。DHCP モードが [オン] であり、プロジェクターが IP アドレスを自動的に取得することを確認します。これには、約 10 ～ 20 秒かかります。*

ユーザーコントロール

LAN_RJ45

操作の簡便性のため、オプトマプロジェクタはさまざまなネットワーキングとリモート管理機能を提供しています。

ネットワーク経由のプロジェクタの LAN／RJ45 機能、電源オン／オフ、輝度、コントラスト設定などのリモート管理ができます。また、ビデオソース、サウンドミュート等、プロジェクタの状態に関する情報を見ることができます。



注記：

- *プロジェクタは LAN に接続します。標準イーサネットケーブルを使用してください。*
- *ピア・ツー・ピア（PC はプロジェクタに直接接続します）。クロスオーバーイーサネットケーブルを使用してください。*

ユーザーコントロール

優先LAN端末機能

プロジェクタは、PC（ノートPC）またはLAN/RJ45ポートを介したCrestron/Extron/AMX（Device Discovery）/PJLink互換のその他の外付けデバイスによりコントロールできます。.

- Crestronは米国におけるCrestron Electronics, Inc.の登録商標です。
- Extronは米国におけるExtron Electronics, Inc.の登録商標です。
- AMXは米国におけるAMX LLCの登録商標です。
- PJLinkはJBMIAにより日本、米国、およびその他の国で商標とロゴが申請されています。

サポートされる外付けデバイス

本プロジェクタはCrestron Electronicsコントローラおよび関連するソフトウェア（RoomView®など）の指定されたコマンドによりサポートされています。

http://www.crestron.com/

本プロジェクタは、Extronデバイスの基準のサポートに適合しています。

http://www.extron.com/

本プロジェクタはAMX（ Device Discovery ）によりサポートされています。

http://www.amx.com/

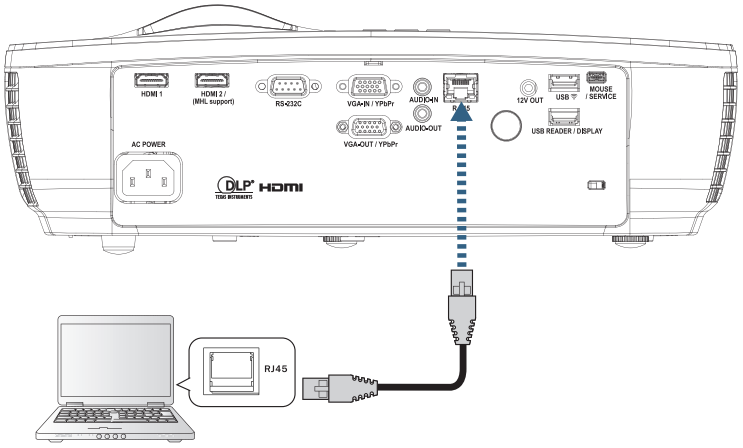
本プロジェクタはPJLink Class1（バージョン1.00）のすべてのコマンドをサポートします。

http://pjlink.jbmia.or.jp/english/

LAN/RJ45ポートに接続してリモートでコントロールできるさまざまなタイプの外付けデバイス、および各外付けデバイスをサポートする関連するコントロールコマンドに関する詳細については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

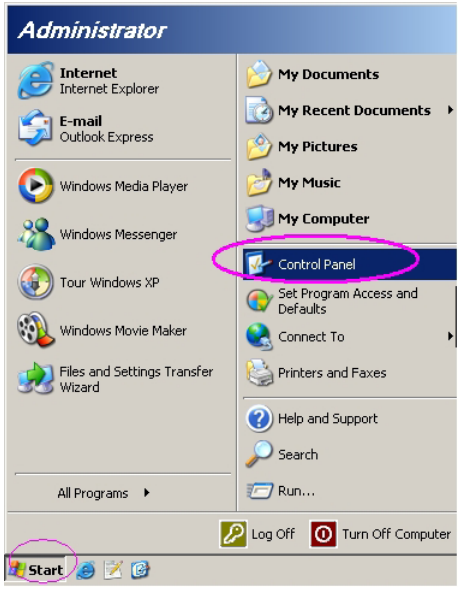
LAN_RJ45

1. RJ45 ケーブルをプロジェクタと PC（ノートブック）の RJ45 ポートに接続します。

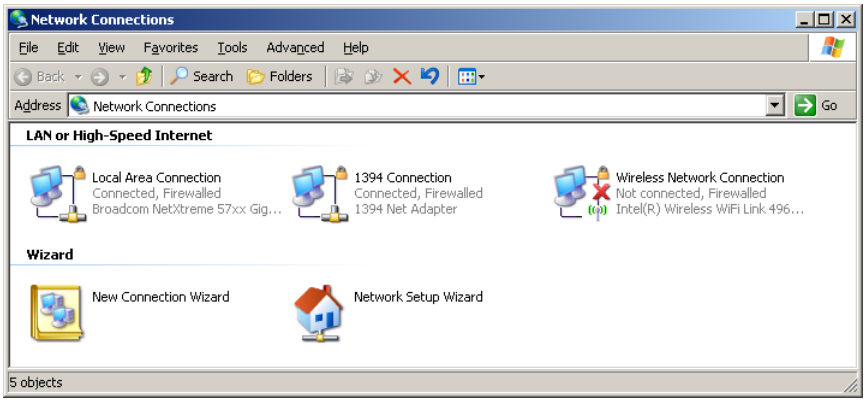


ユーザーコントロール

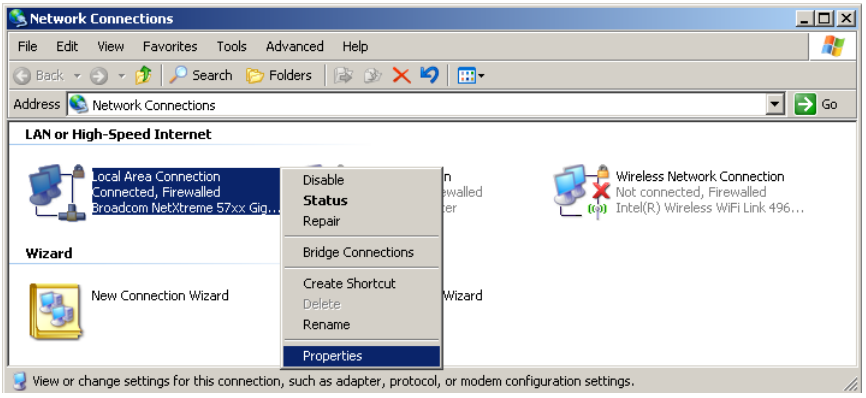
2. PC（ノートブック）上で、次を選択します。Start -> Control Panel-> Network Connections。



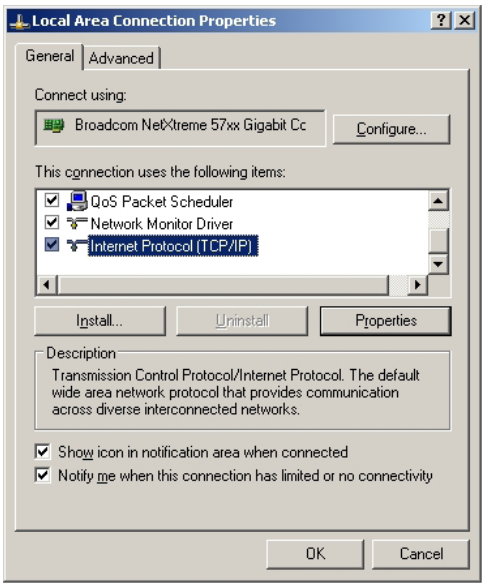
3. ローカルエリア接続上で右クリックし、Propertyを選択します。



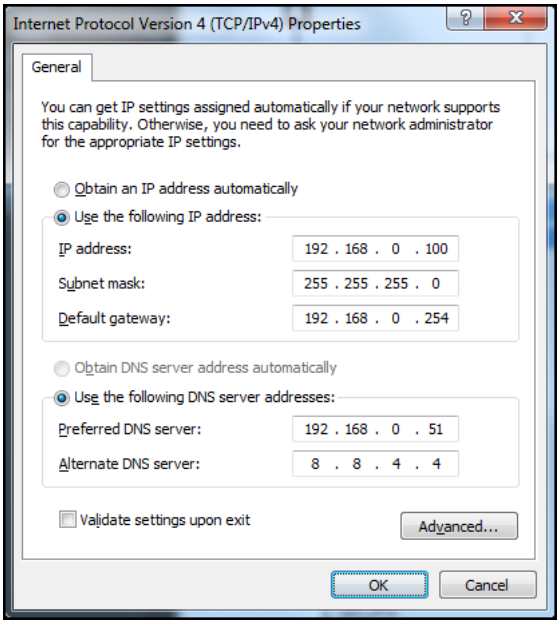
4. Propertiesウィンドウで General タブを選択し、Internet Protocol（TCP/IP）を選択します。



5. Properties をクリックします。

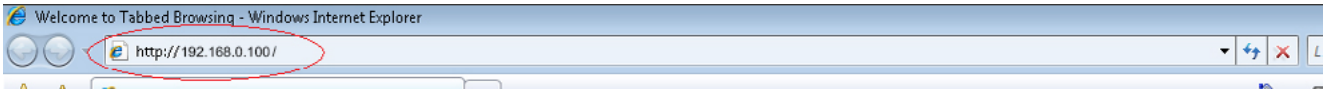


6. IP アドレスとサブネットマスクを入力し、OK を押します。



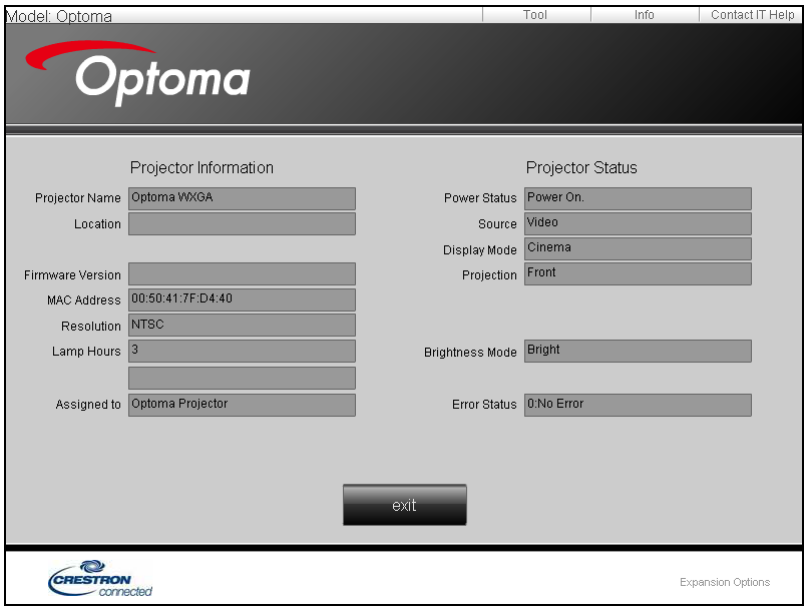
ユーザーコントロール

7. プロジェクタの Menu (Menu) ボタンを押します。
8. OSD-> ネットワーク-> LAN の順に選択します。
9. ネットワーク状態を表示したら、次を開きます：
   - DHCP：オフ
   - IP アドレス：192.168.0.100
   - サブネットマスク：255.255.255.0
   - ゲートウェイ：192.168.0.254
   - DNS：192.168.0.51
   - DNS2：8.8.4.4
10. Enter (Enter) を押して設定を確定します。
11. Web ブラウザを開きます（Adobe Flash Player 9.0 以上を搭載した Microsoft Internet Explorer など）。
12. アドレスバーに IP アドレスを入力します：192.168.0.100。



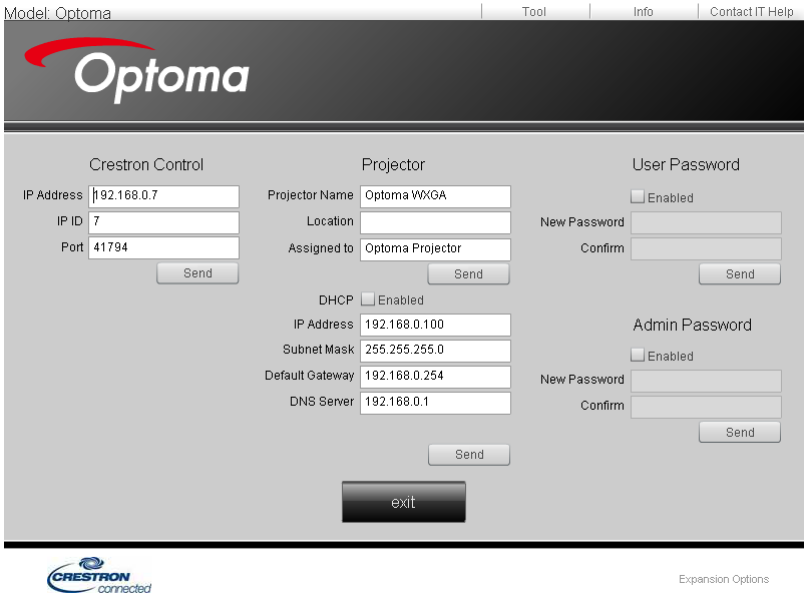
13. Enter (Enter) を押します。
    プロジェクタのリモート管理設定が設定されました。LAN／RJ45 機能は次のように表示されます。

    詳細については、*http://www.crestron.com* を参照してください。



ユーザーコントロール





Telnet機能によるRS232

プロジェクタは専用のRS232コマンドコントロールによる「ハイパーターミナル」通信でRS232インターフェースに接続できるだけでなく、LAN/RJ45インターフェースでいわゆる「RS232 by TELNET」にも接続できます

ユーザーコントロール

「RS232 by TELNET」のクイックスタートガイド

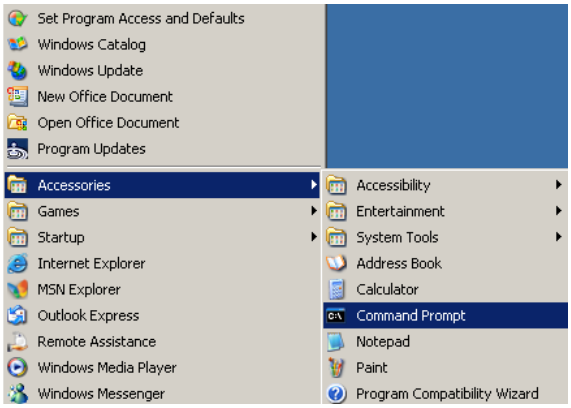
プロジェクタのOSDでIPアドレスをチェックし、取得してください。

ノートPC／PCがプロジェクタのWebページにアクセスできることを確認してください。

「TELNET」機能がノートPC／PCにより取り除かれている場合、「Windowsファイアーウォール」設定を無効にしていることを確認してください。



1. スタート => すべてのプログラム => アクセサリ => コマンドプロンプト。



2. 以下のように、コマンドフォーマットを入力します。
   telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23（「Enter」キーを押す）

   （ttt.xxx.yyy.zzz：プロジェクタのIPアドレス）

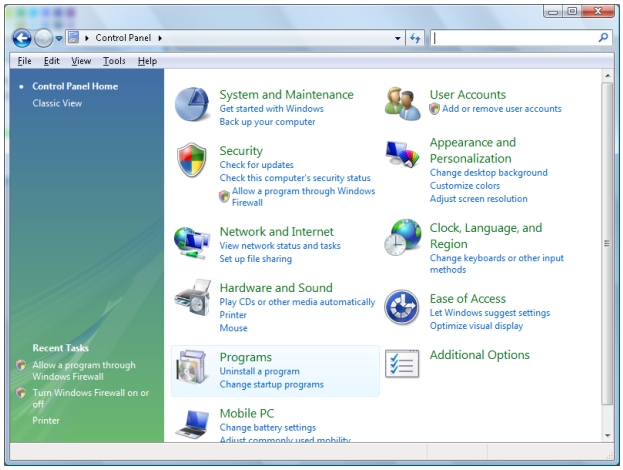
3. Telnet接続の準備が完了しユーザーがRS232コマンドを入力できるようになったら、「Enter」キーを押します。RS232コマンドが作動します。

ユーザーコントロール

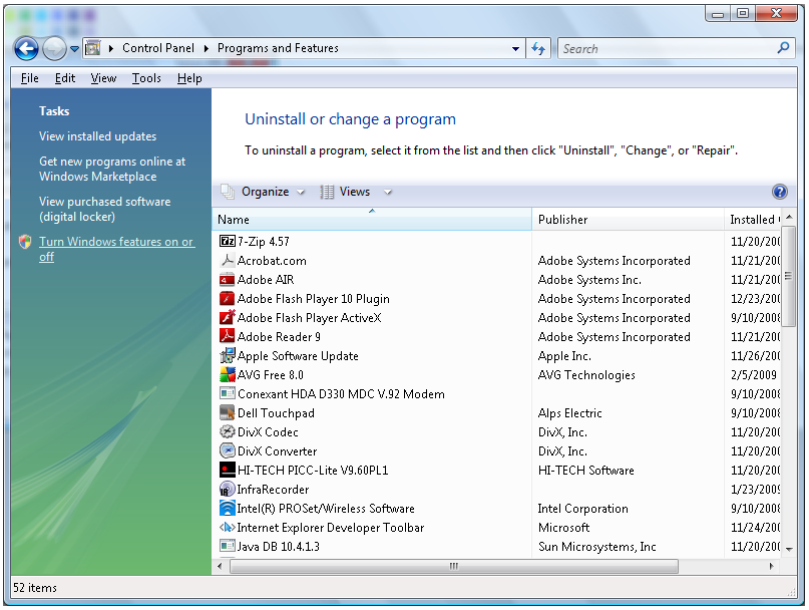
Windows VISTA / 7でTELNETを有効にする方法

Windows VISTAのデフォルトのインストールに、「TELNET」機能は含まれていません。しかし、エンドユーザーは「Windows機能の有効化または無効化」を有効にすることでこの機能を取得できます。

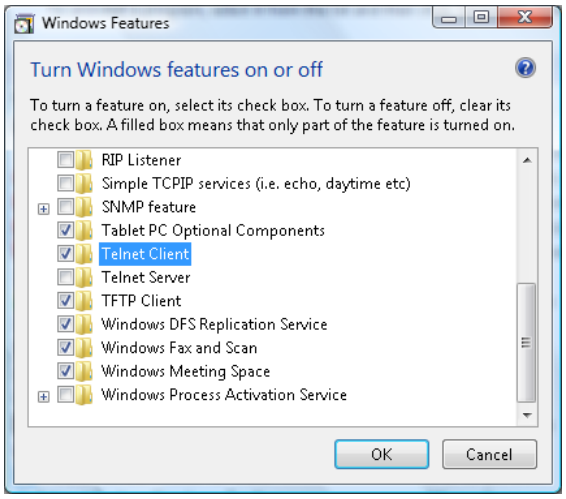
1. Windows VISTAで「コントロールパネル」を開きます。



2. 「プログラム」を開きます。

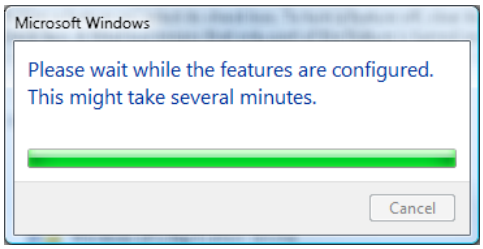


3. 「Windows機能の有効化または無効化」を選択して開きます。



ユーザーコントロール

4. 「Telnetクライアント」オプションのチェックボックスをオンにし、「OK」ボタンを押します。



「RS232 by TELNET」のスプレッドシート：

1. Telnet：TCP。
2. Telnetポート：23（詳細については、サービス代理店またはチームにお問い合わせください）。
3. Telnetユーティリティ：Windows「TELNET.exe」（コンソールモード）。
4. RS232-by-Telnetコントロールの通常切断：TELNET接続の準備ができたら、Windows Telnetユーティリティを直接閉じます。
   Telnet-Controlの制限1：Telnet-Controlアプリケーションの連続的なネットワークペイロードに、50バイトもありません。

   Telnet-Controlの制限2：Telnet-Controlの完全なRS232コマンドに26バイトもありません。

   Telnet-Controlの制限3：次のRS232コマンドの最小遅延は200（ms）以下に抑える必要があります。

   （*、Windows XPに組み込まれた「TELNET.exe」ユーティリティで、
   「Enter」キーを押すと「改行」と「復帰改行」コードが有効になります。）

付録

故障かなと思ったら

問題が発生した場合は、以下の情報をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合せください。

画像

スクリーンに映像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- コネクタのピンが曲がっていないか、または壊れていないか確認してください。
- プロジェクター ランプが正しく取り付けられているか確認してください。「ランプの交換」を参照してください。
- レンズキャップが付いていないか、また、プロジェクターの電源が入っているか確認してください。

画像のピントが合っていない

- レンズのキャップを取り外していることを確認してください。
- プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。
- 投射スクリーンがプロジェクターから必要な距離を離れていることを確認します。15-21ページを参照してください。

16:9 DVD タイトルを再生表示しているとき、映像が伸びる

- アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で 16:9 フォーマットで最高の画像を表示します。
- LBX フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD でフォーマットを LBX に変更してください。
- 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクターOSD で 4:3 とフォーマットを変更してください。
- それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- レンズからズームレバーを調整します。
- プロジェクターをスクリーンに近づけたり離したりしてください。
- プロジェクターパネルで Menu (Menu) 押し、「ディスプレー -->アスペクト比」に進みます。

画像の両側が斜めになる:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央でかつスクリーンの真下にくるように配置し直し、PureShift を使って画像位置に合わせます。
- OSD から「ディスプレー->Geometric Correction->垂直キーストン」を使用して調整を行います。

イメージが反転する

- OSD から「システム --> 投射方式」を選択し、投射方向を調整します。

付録

その他

プロジェクターがすべての操作不可能です

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源に再び接続します。

ランプが消える、またはランプから破裂音がする

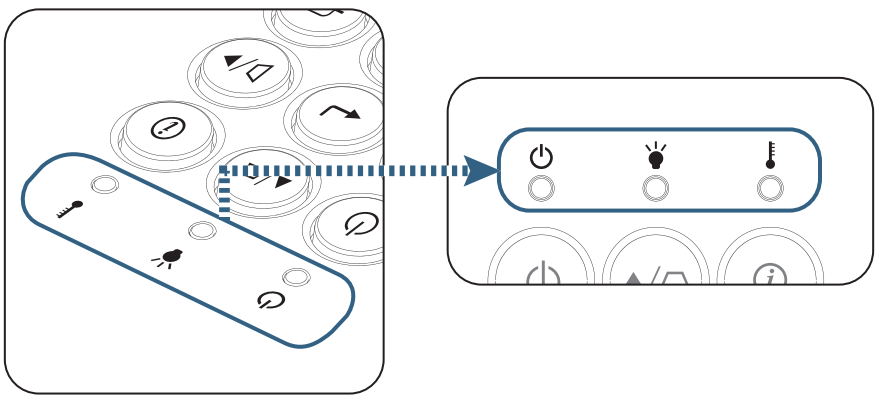
- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。68ページの「ランプの交換」に記載の手順に従ってランプを交換してください。

プロジェクタ LED 状態インジケータ

メッセージ	電源LED (赤)	電源LED (緑)	温度 LED (赤)	ランプ LED (赤)
スタンバイ状態	☼	○	○	○
Power On（暖機中）	○	点滅中 0.25秒オフ 0.25秒点灯	○	○
電源オン&ランプ点灯中	○	☼	○	○
電源オフ（冷却中）	○	点滅中 0.5秒オフ 0.5秒点灯 冷却ファンの停止時に赤色点灯へ戻る	○	○
クイック再開（100秒）	○	点滅中 0.25秒オフ 0.25秒点灯	○	○
エラー（ランプ不良）	点滅中	○	○	☼
エラー（ファン不良）	点滅中	○	点滅中	○
エラー（温度超過）	点滅中	○	☼	○

注記:

- *安定した光 =>* ☼
- *安定した光 =>* ○

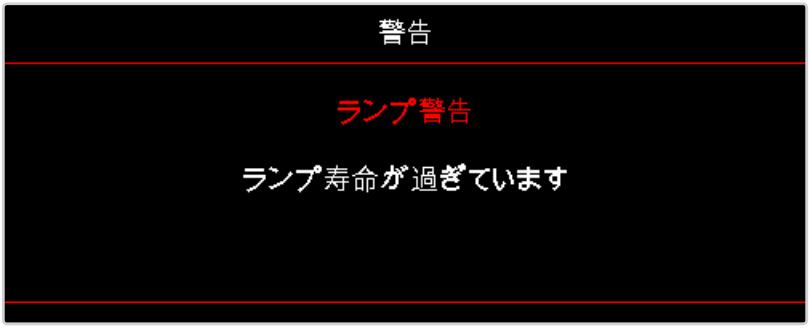


付録

LED 状態

オンスクリーンメッセージ

- ファン故障:
  プロジェクタ自動的にスイッチがオフになります。
- 過温度:
  プロジェクタ自動的にスイッチがオフになります。
- ランプの交換:
  間きなくランプの寿命ガ切わます。
  ラソプを交換してください



警告: 純正ランプのみ使用してください。

リモコン

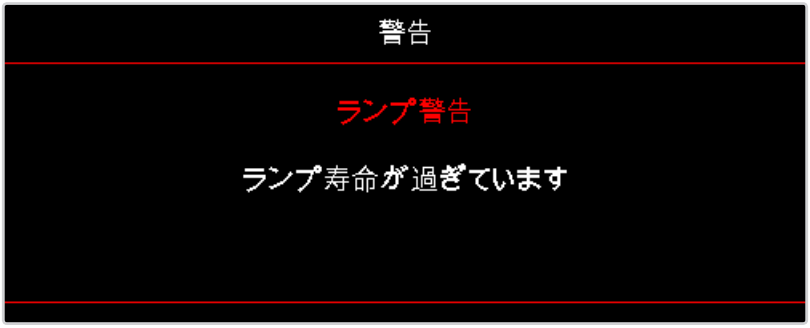
リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクタの IR レシーバーから水平および垂直方向に ±15°以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターから 7 m 以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

付録

ランプの交換

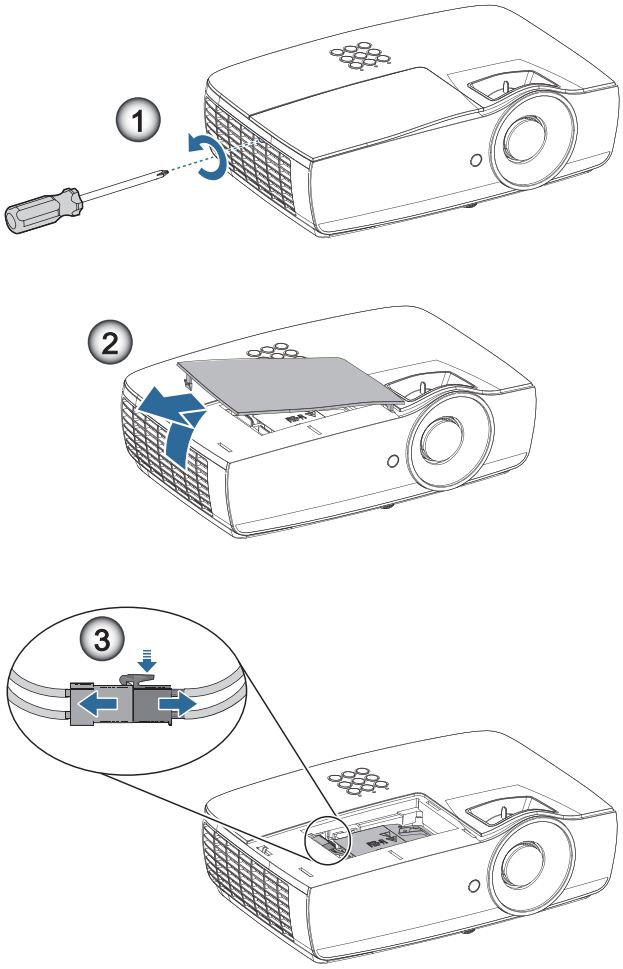
プロジェクターはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づいている場合、警告メッセージが表示されます。



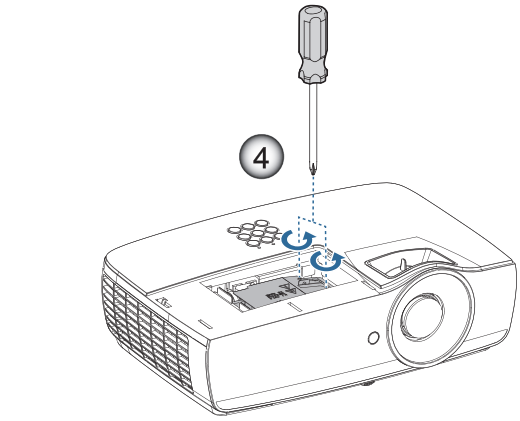
このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクターが十分に放熱するまで約最低 30 分お待ちください。

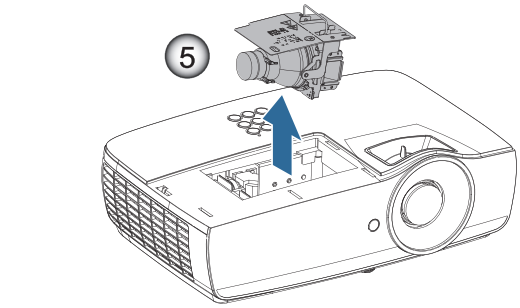
警告：ランプ周辺は高熱になっています。放熱を待ち、ランプが十分に冷めてから交換してください。

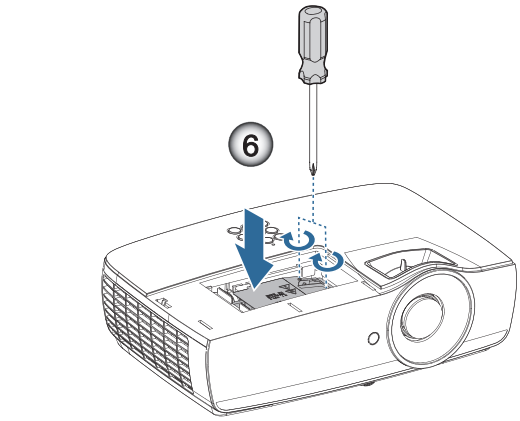
警告：怪我を防止するため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

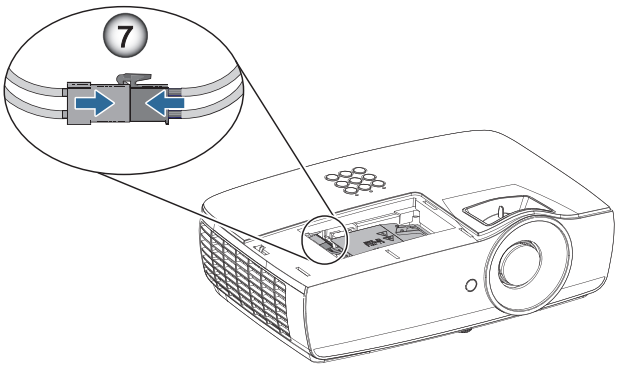


付録

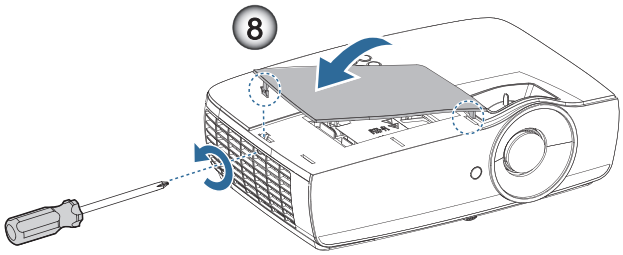








付録



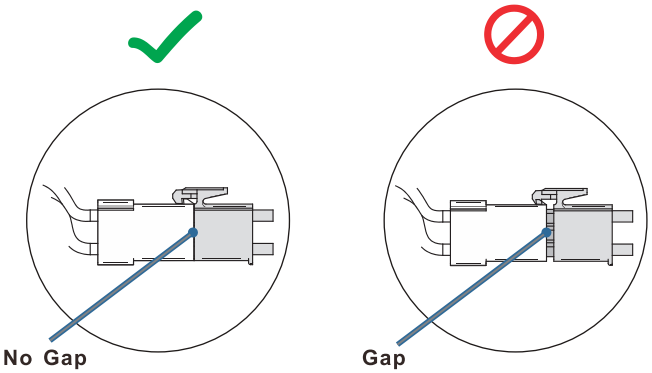
ランプ交換手順:

1. 電源ボタンを押して、プロジェクターの電源をオフに切り替えます。
2. ランプが十分に冷めるまで約 30 分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. ランプ収納カバーからネジを2本外します。❶
5. ランプ周辺カバーを取り外します。❷
6. ランプコネクタの接続を外します。❸
7. ランプモジュールから 2 本のネジを抜きます。モジュールのハンドルを持ち上げます。❹
8. モジュールハンドルをしっかりと引っ張って、ランプモジュールを外します。❺

ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。取り付けているとき、ランプモジュールをコネクタに揃え、損傷を避けるために水平になっていることを確認します。

9. ランプモジュールを交換したら、プロジェクターの電源を入れ「ランプリセット」をオンにします。
   ランプリセット：(i)「メニュー」を押し -> (ii)「セットアップ」-> (iii)「ランプ設定」->(iv)「ランプリセット」-> (v)「はい」の順に選択します

警告：ランプコネクタは、以下の図の要領でコネクタベースに密着させる必要があります。ランプコネクタとコネクタベースの間に隙間があると、プロジェクターの損傷の原因となります。以下の図にて、ランプコネクタ取り付けの正解と不正解を例示します。



付録

対応解像度

信号	解像度	水平同期信号(KHz)	垂直同期信号(Hz)	コンポーネント	VGA (アナログ)	HDMI 1 HDMI 2/MHL (デジタル)
VESA	720 x 400	31.5	70.1	—	○	○
	640 x 480	31.5	60	—	○	○
	640 x 480	35	66.667	—	○	○
	640 x 480	37.86	72.8	—	○	○
	640 x 480	37.5	75	—	○	○
	640 x 480	43.3	85	—	○	○
	640 x 480	61.9	119.5	—	○	○
	800 x 600	37.9	60.3	—	○	○
	800 x 600	46.9	75	—	○	○
	800 x 600	48.1	72.2	—	○	○
	800 x 600	53.7	85.1	—	○	○
	800 x 600	76.3	120	—	○	○
	832 x 624	49.722	74.546	—	○	○
VESA	1024 x 768	48.4	60	—	○	○
	1024 x 768	56.5	70.1	—	○	○
	1024 x 768	60.241	75.02	—	○	○
	1024 x 768	60	75	—	○	○
	1024 x 768	68.7	85	—	○	○
	1024 x 768	97.6	120	—	○	○
VESA	1152 x 864	68.68	75.06	—	○	○
	1280 x 720	45	60	—	○	○
	1280 x 720	90	120	—	○	○
	1280 x 768 (Reduce Blanking)	47.4	60	—	○	○
	1280 x 768	47.8	59.9	—	○	○
	1280 x 800	49.7	59.8	—	○	○
	1280 x 800	62.8	74.9	—	○	○
	1280 x 800	71.6	84.9	—	○	○
	1280 x 800	101.6	119.9	—	○	○
	1280 x 1024	64	60	—	○	○
	1280 x 1024	80	75	—	○	○
	1280 x 1024	91.1	85	—	○	○
	1280 x 960	60	60	—	○	○
	1280 x 960	85.9	85	—	○	○
	1366 x 768	47.7	60	—	○	○
	1400 x 1050	65.3	60	—	○	○
	1440 x 900	55.9	59.9	—	○	○
	1440 x 900	70.6	75	—	○	○
	1600 x1200	75	60	—	○	○
	1680 x1050 (Reduce Blanking)	64.67	59.88	—	○	○
	1680 x1050	65.29	59.95	—	○	○
	1920 x 1080	67.5	60	—	○	○
	1920 x 1200 (Reduce Blanking)	74.038	59.95	—	○	○
Apple Macintosh	640 x 480	35	66.7	—	○	○
	832 x 624	49.7	74.5	—	○	○
	1024 x 768	60.2	74.9	—	○	○
	1152 x870	68.7	75.1	—	○	○

付録

信号	解像度	水平同期信号(KHz)	垂直同期信号(Hz)	コンポーネント	VGA (アナログ)	HDMI 1 HDMI 2/MHL (デジタル)
SDTV	480i	15.734	60	O	—	O
	576i	15.625	50	O	—	O
EDTV	576p	31.3	50	O	—	O
	480p	31.5	60	O	—	O
HDTV	720p	37.5	50	O	—	O
	720p	45	60	O	—	O
	1080i	33.8	60	O	—	O
	1080i	28.1	50	O	—	O
	1080p	27	24	O	—	O
	1080p	28	25	O	—	O
	1080p	33.7	30	O	—	O
	1080p	56.3	50	O	—	O
	1080p	67.5	60	O	—	O

True 3Dビデオ互換表

入力解像度		入力タイミング	
HDMI 1.4a 3D Input	1280 x 720p @50Hz	Top-and–Bottom	
	1280 x 720p @60Hz	Top-and–Bottom	
	1280 x 720p @50Hz	フレームパッキング	
	1280 x 720p @60Hz	フレームパッキング	
	1920 x 1080i @50Hz	Side-by-Side（半分）	
	1920 x 1080i @60Hz	Side-by-Side（半分）	
	1920 x 1080p @24Hz	Top-and–Bottom	
	1920 x 1080p @24Hz	フレームパッキング	
HDMI 1.3	1920 x 1080i @50Hz	Side-by-Side（半分）	Side By Sideモードはオンです
	1920 x 1080i @60Hz		
	1280 x 720p @50Hz		
	1280 x 720p @60Hz		
	1920 x 1080i @50Hz	Top-and-Bottom	Tabモードはオンです
	1920 x 1080i @60Hz		
	1280 x 720p @50Hz		
	1280 x 720p @60Hz		
	480i	HQFS	3D映像フォーマットがFrame Sequential（フレームシーケンシャル）

- 3D入力が1080p @24Hzの場合、DMDは3Dモードにより整数倍で再生される必要があります。
- 1080i @25Hzと720p @50Hzは100Hzで作動します。他の3Dタイミングは120Hzで作動します。

付録

Telnetコマンド

- ポート：23／1023／2023の3ポートのサポート
- マルチ接続：プロジェクタは同時に異なるポートからコマンドを受け取ることができました
- コマンドフォーマット：RS232コマンドフォーマットに従います（ASCIIとHEXのサポート）
- コマンドレスポンス：RS232復帰メッセージに従います。

Lead Code	Projector ID		Command ID			Space	Variable	Carriage Return
Standby State								
~	✖	✖	✖	✖	✖		n	CR
Fix code One Digit~	00		Defined by Optoma 2 or 3 Digit. See the Follow content			One Digit	Per item Definition	Fix code One Digit

注記： *WXGA（ワイドスクリーン解像度）の場合、互換性サポートはノートPC/PCモデルに依存します。*

AMX Device Discoveryコマンド

- DP：239.255.250.250
- ポート番号：9131
- 以下のような各UDPブロードキャスト情報は、約40秒で更新されます

Command	Description	Remark (Parameter)
Device-UUID	MAC address (Hex value without' ':' separator)	12 digits
Device-SKDClass	The Duet DeviceSdk class name	VideoProjector
Device-Make	Maker name	MakerPXLW
Device-Model	Model name	Projector
Config-URL	Device's IP address LAN IP address is shown up if LAN IP address is valid. Wireless LAN IP address is shown up if Wireless LAN IP address is valid.	http://xxx.xxx.xxx.xxx/index.html
Revision	The revision must follow a major.minor.micro scheme. The revision is only increased if the command protocol is modified.	1.0.0

注記：

- *WXGA（ワイドスクリーン解像度）の場合、互換性サポートはノートPC/PCモデルに依存します。*
- *このAMX機能はAMX Device Discoveryのみをサポートします。*
- *ブロードキャスト情報は有効なインターフェースを通してのみ送信されます。*
- *LANとワイヤレスLANのインターフェースはどちらも同時にサポートできます。*
- *「ビーコンバリデータ」が使用された場合。以下の情報に注意してください。*

付録

PJLink™のサポートされるコマンド

以下の表では、PJLink™プロトコルを使用してプロジェクタをコントロール右するコマンドを示しています。

コマンド説明備考（パラメータ）

Command	Description	Remark (Parameter)
POWR	Power control	0 = Standby
		1 = Power on
POWR?	Inquiry about the power state	0 = Standby
		1 = Power on
		2 = Cooling down
		3 = Warming up
INPT	INPT Input switching	11 = VGA1
INPT?	Inquiry about input switching	12 = VGA2
		13 = Component
		14 = BNC
		21 = VIDEO
		22 = S-VIDEO
		31 = HDMI 1
		32 = HDMI 2
AVMT	Mute control	30 = Video and audio mute disable
AVMT?	Inquiry about the mute state	31 = Video and audio mute enable
ERST?	Inquiry about the error state	1st byte: Fan error, 0 or 2
		2nd byte: Lamp error, 0 to 2
		3rd byte: Temperature error, 0 or 2
		4th byte: Cover open error, 0 or 2
		5th byte: Filter error, 0 or 2
		6th byte: Other error, 0 or 2
		0 to 2 mean as follows: 0 = No error detected, 1 = Warning, 2 = Error
LAMP?	Inquiry about the lamp state	1st value (1 to 5 digits): Cumulative LAMP operating time (This item shows a lamp operating time (hour) calculated based on that LAMP MODE is LOW.)
		2nd value: 0 = Lamp off, 1 = Lamp on
INST?	Inquiry about the available inputs	The following value is returned. “11 12 21 22 31 32”
NAME?	Inquiry about the projector name	The projector name set on the NETWORK menu or the ProjectorView Setup window is returned
INF1?	Inquiry about the manufacturer name	“Optoma” is returned.
INF2?	Inquiry about the model name	“XXXXX” is returned.
INF0?	Inquiry about other information	No other information is available. No parameter is returned.
CLSS?	Inquiry about the class information	“1” is returned.

注記：

- *このプロジェクタはJBMIA PJLink™ Class 1の仕様に完全に適合しています。PJLink™ Class 1で定義されたすべてのコマンドをサポートし、コンプライアンスがPJLink™ 標準仕様バージョン1.0で確認されました。*
- *上記のメッセージに表示されている “XXXXX” は、モデルにより異なる数字です。*

付録

Trademarks

- DLP is trademarks of Texas Instruments.
- IBM is a trademark or registered trademark of International Business Machines Corporation.
- Macintosh, Mac OS X, iMac, and PowerBook are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Microsoft, Windows, Windows Vista, Internet Explorer and PowerPoint are either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- HDMI, the HDMI Logo and High-Definition Multimedia Interface are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC.
- AMX Device Discovery

  The pro.jector is monitored and controlled by the control system of AMX.
- Crestron RoomView Connected™

  The projector is monitored and controlled by the control system and software of Crestron Electronics, Inc.
- PJLink™

  PJLink trademark is a trademark applied for registration or is already registered in Japan, the United States of America and other countries and areas.

  This projector supports standard protocol PJLink™ for projector control and you can control and monitor projector's operations using the same application among projectors of different models and different manufacturers.
- Other product and company names mentioned in this user's manual may be the trademarks or registered trademarks of their respective holders.
- About Crestron RoomView Connected™

  Electronics, Inc. to facilitate configuration of the control system of Crestron and its target devices.

  For details, see the website of Crestron Electronics, Inc.

  URL http://www.crestron.com

  URL http://www.crestron.com/getroomview/

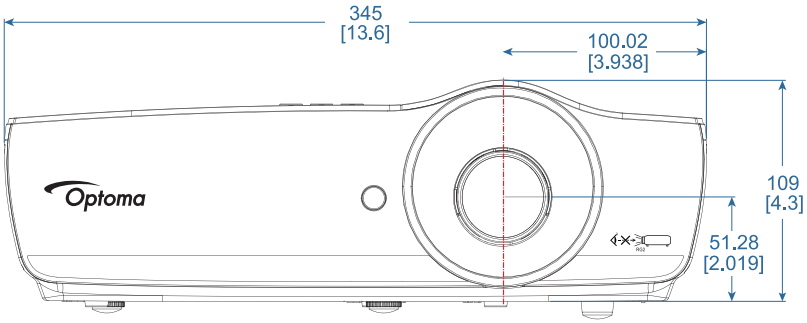
付録

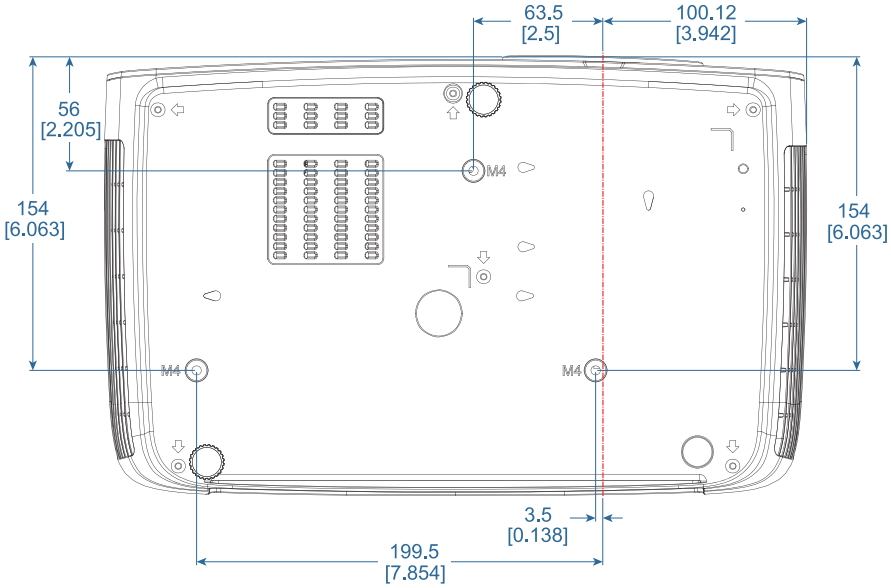
プロジェクタの取り付けについて

- プロジェクタは水平に置いてください
  - ***プロジェクタの傾き角度は 5 度を越えないようにします***。また、プロジェクタは、デスクトップや天井取り付け以外の方法で取り付けないでください。ランプの寿命が著しく低下することがあります。あるいは、***予測できない損傷***につながることがあります。

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず Optoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. サードパーティ製の天吊り用キットを使用する場合、プロジェクターを取り付けるために使用されるねじが次の仕様を満たしていることを確認してください:
   - ネジの種類: M4
   - 最大ネジ長: 11mm
   - 最小ネジ長: 9mm

注記: *プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。*





警告:

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ねじのサイズはキットごとに異なります。プレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

付録

Optoma 社お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

アメリカ
47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

カナダ
47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

南米
47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

ヨーロッパ
Unit 1, Network 41, Bourne End Mills
Hemel Hempstead, Herts, HP1 2UJ
United Kingdom
www.optoma.eu
Service Tel : +44 (0)1923 691865
+44 (0) 1923 691 800
+44 (0) 1923 691 888
service@tsc-europe.com

ベネルクス
Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl
+31 (0) 36 820 0252
+31 (0) 36 548 9052

フランス
Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France
+33 1 41 46 12 20
+33 1 41 46 94 35
savoptoma@optoma.fr

スペイン
C/ José Hierro,36 Of. 1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
Spain
+34 91 499 06 06
+34 91 670 08 32

ドイツ
Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany
+49 (0) 211 506 6670
+49 (0) 211 506 66799
info@optoma.de

スカンディナヴィア
Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway
+47 32 98 89 90
+47 32 98 89 99
info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway

韓国
WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F, Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
Seoul,135-815, KOREA
korea.optoma.com
+82+2+34430004
+82+2+34430005

日本
東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター:0120-380-495
info@os-worldwide.com
www.os-worldwide.com

台湾
12F., No.213, Sec. 3, Beixin Rd.,
Xindian Dist., New Taipei City 231,
Taiwan, R.O.C.
www.optoma.com.tw
asia.optoma.com
+886-2-8911-8600
+886-2-8911-6550
services@optoma.com.tw

香港
Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong
+852-2396-8968
+852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国
5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China
+86-21-62947376
+86-21-62947375
www.optoma.com.cn

付録

規制と安全通知

この付録では、お使いのプロジェクターの一般的通知を一覧表示しています。

FCC 通知

この機器は、FCC 規則の Part 15に基づいて試験が実施され、デジタル デバイス クラス B の限度値に適合していることが確認されています。これらの限度値は、住宅地でこれらの機器が利用される際に、有害な電波干渉に対して適切な保護を提供することを目的に、設定されています。この機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用および放射するため、取扱説明書に従わずに設置および使用した場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす恐れがあります。

しかしながら、一定の設置に対して、電波干渉は必ず発生しないという保証はありません。この機器が実際にラジオやテレビの受信障害を引き起こす場合（機器の電源をオンやオフに切り替えることで確認できます）は、以下のいずれかの方法を1つまたは1つ以上お試しいただき、電波干渉を改善されることをお勧めします：

- 受信アンテナの向きを変えたり、設置場所を変えてみる。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ／ビデオの専門技術者に問い合わせる。

通知：シールドされたケーブル

他のコンピュータ装置へのすべての接続には、FCC 規制に準拠するためにシールドされたケーブルを使用する必要があります

注意

FCC 準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造がメーカーに無断で行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

操作条件

本製品は FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規制されます：

1. 電波障害を起こさないこと
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

通知：カナダのユーザー

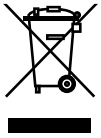
このクラス B デジタル機器はカナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国に対する適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EU（修正案を含む）
- 低電圧指令 2014/35/EU
- R & TTE 指令 1999/5/EC（製品に赤外線機能が付いている場合）
- RoHS 指令 2011/65/EU
- エネルギー関連製品 (ErP) 指令 2009/125/EC



廃棄に関する指示

この電子デバイスを処分するとき、ごみ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、本製品をリサイクルしてください。